

男女共同参画に関する町民意識アンケート調査

実施結果報告書

平成20年9月

当実施結果報告書は、二宮町男女共同参画プランに位置付けられている各種プランの効率的な推進を目的に、幅広い年齢層の町民が感じている男女共同参画に対する意識や考え方、現状等を把握し、今後の二宮町の男女共同参画施策を検討する上での基礎資料とするため、平成20年8月に二宮町在住の20歳以上の町民から無作為に抽出した1,000名を対象に実施いたしました『男女共同参画に関する町民意識アンケート調査』の結果を報告書としてまとめたものです。

調査にあたりご協力いただきました皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも町政事業に変わらずご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

男女共同参画に関する町民意識アンケート調査実施要領	...	1
回収結果	...	3
回答者属性	...	5
考察	...	9
グラフ	...	13
男女の地位に関する意識	...	13
家庭生活等に関する意識	...	19
男女共同参画の形成に関する意識	...	35
資料データ	...	43

男女共同参画に関する町民意識アンケート調査実施要領

1 目的

二宮町男女共同参画プランに位置付けられている各種プランの効率的な推進を目的に、幅広い年齢層の町民が感じている男女共同参画に対する意識や考え方、現状等を把握し、今後の二宮町の男女共同参画施策を検討する上での基礎資料とする。

2 アンケート対象

- 二宮町在住の町民 1,000名(男性486名 女性514名)
(平成20年6月30日現在、20歳以上の町民の中から無作為に抽出)

3 アンケート項目

- (1) 回答者属性(性別、年齢層、職業、婚姻、配偶者の職業等)
- (2) 男女の地位に関する意識(家庭・職場・教育・地域・社会通念等)
- (3) 家庭生活等に関する意識(家事・育児・介護、ワーク・ライフ・バランス等)
- (4) 男女共同参画の形成に関する意識(用語の認知、有効施策、情報入手方法等)

4 アンケート実施方法

- 二宮町在住の20歳以上の町民から無作為に抽出した1,000名に調査依頼を郵送し、同封の返信用封筒(料金受取人払い)での返送を受け、集計を行う。

5 日程

平成20年8月1日(金)～平成20年8月31日(日)

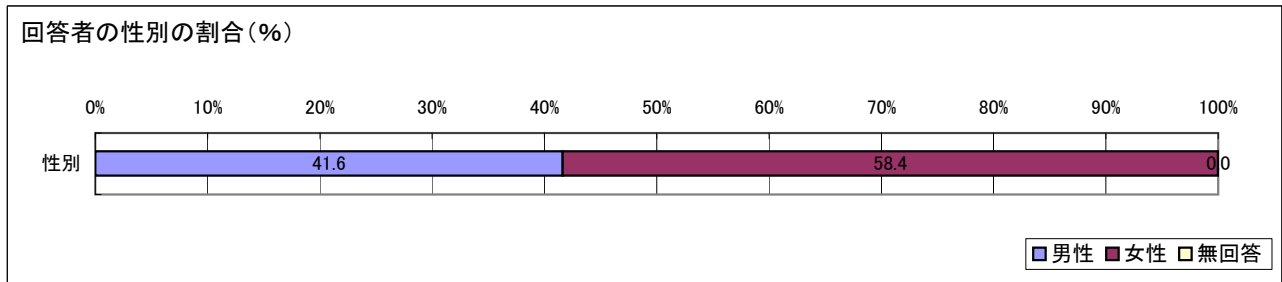
回収結果

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
1,000	423	42.3%	418	41.8%

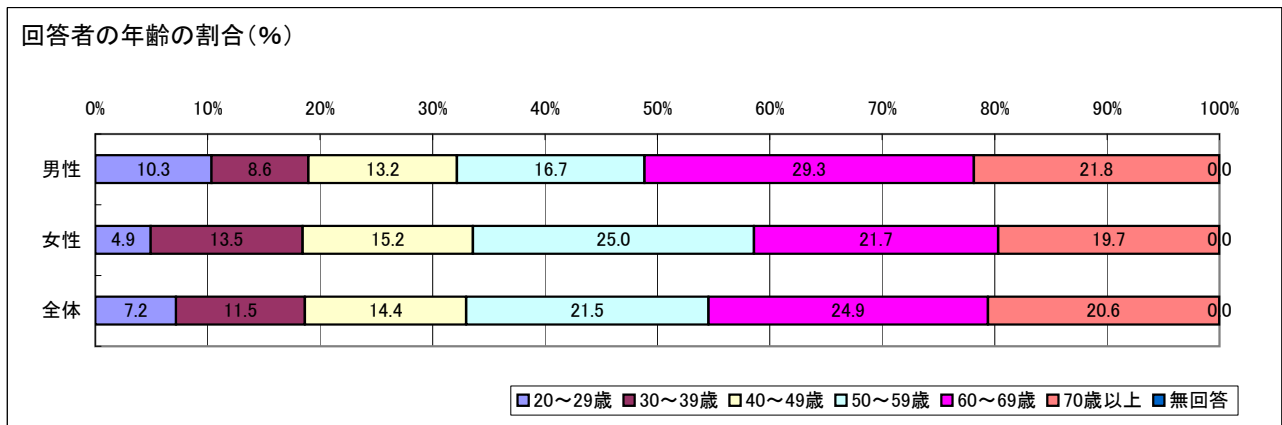
※ 無効5件(解答用紙欠損による属性不明1件、対象者回答不能等の理由による返却4件)

回答者属性

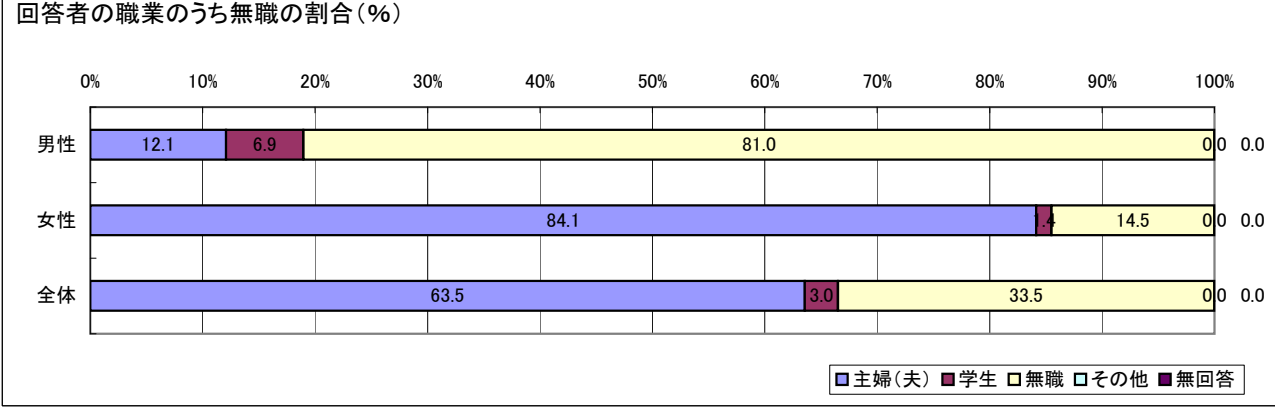
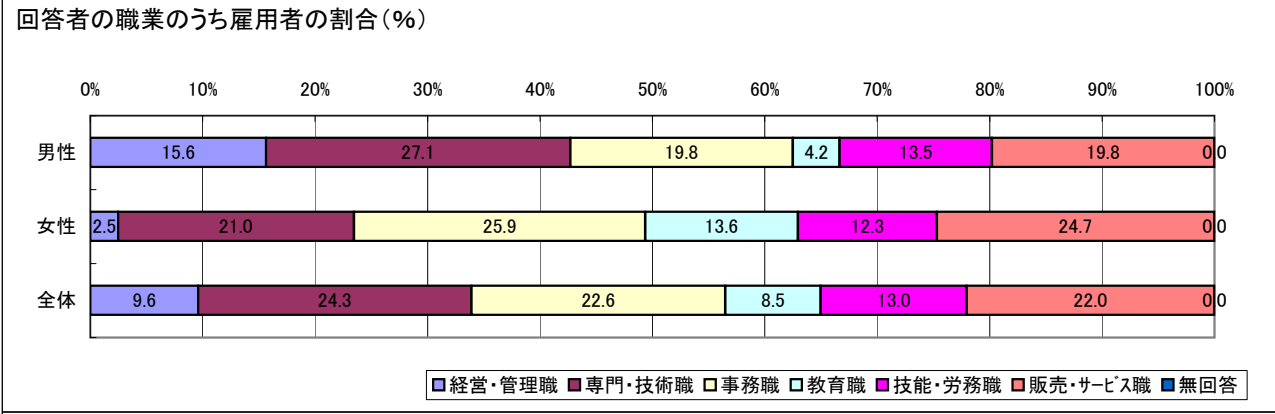
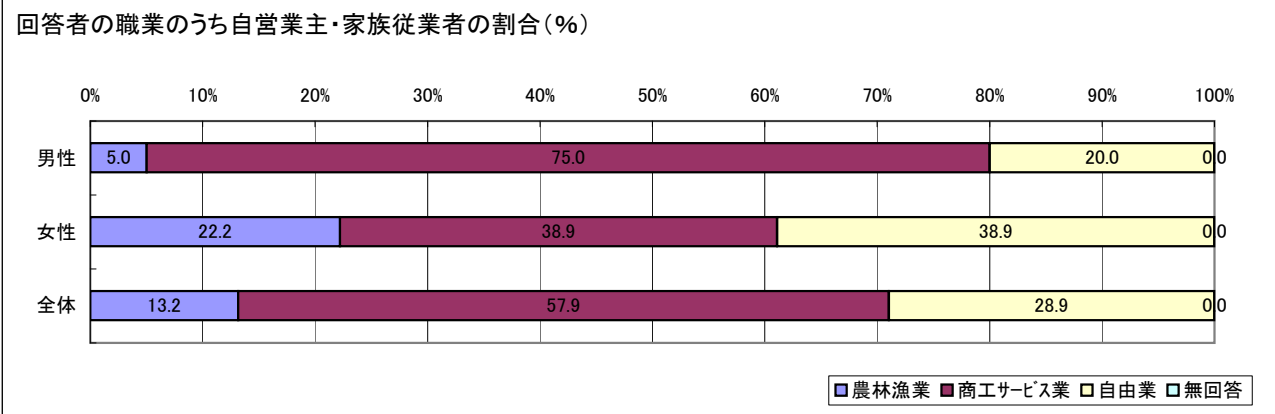
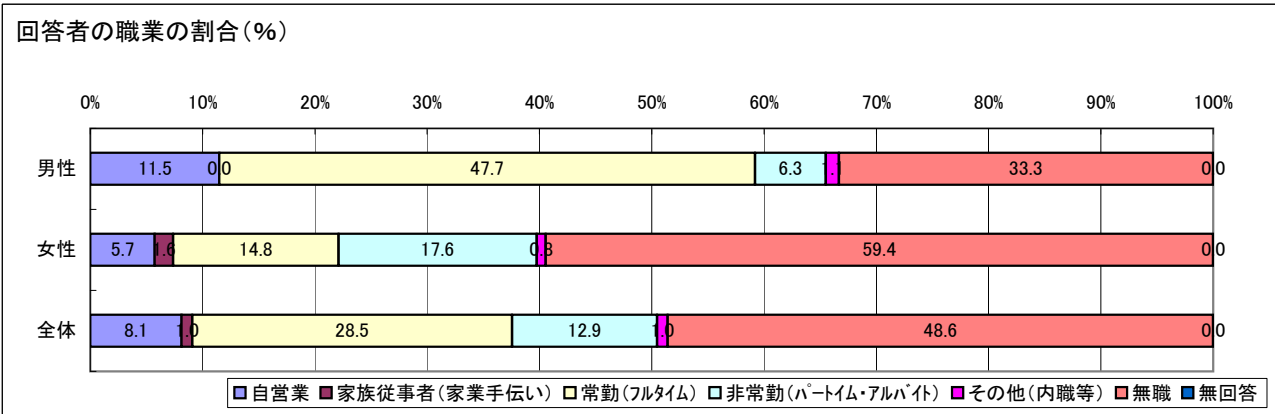
問1 あなたの性別をお聞かせください。



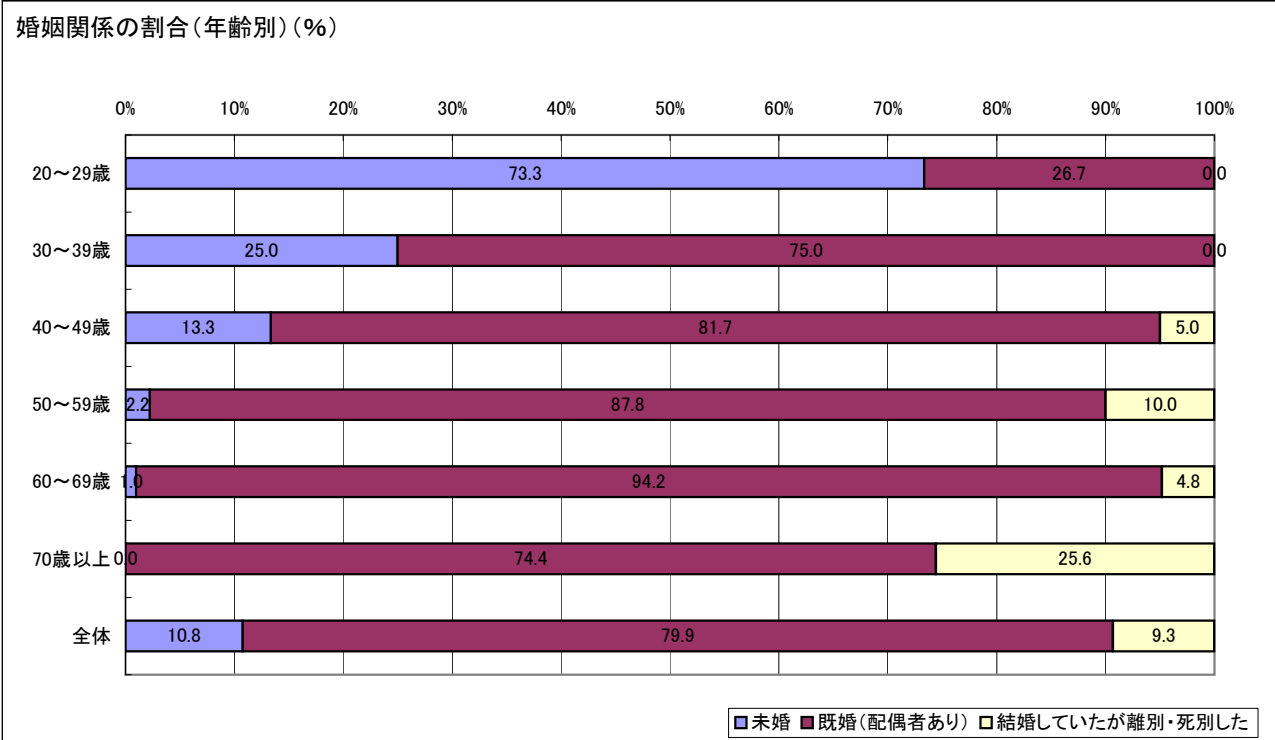
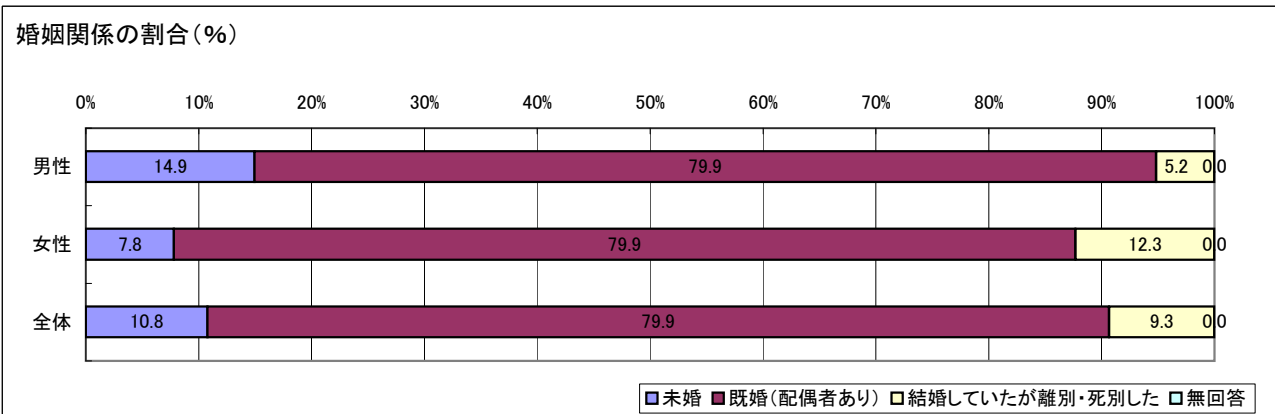
問2 あなたの年齢をお聞かせください。



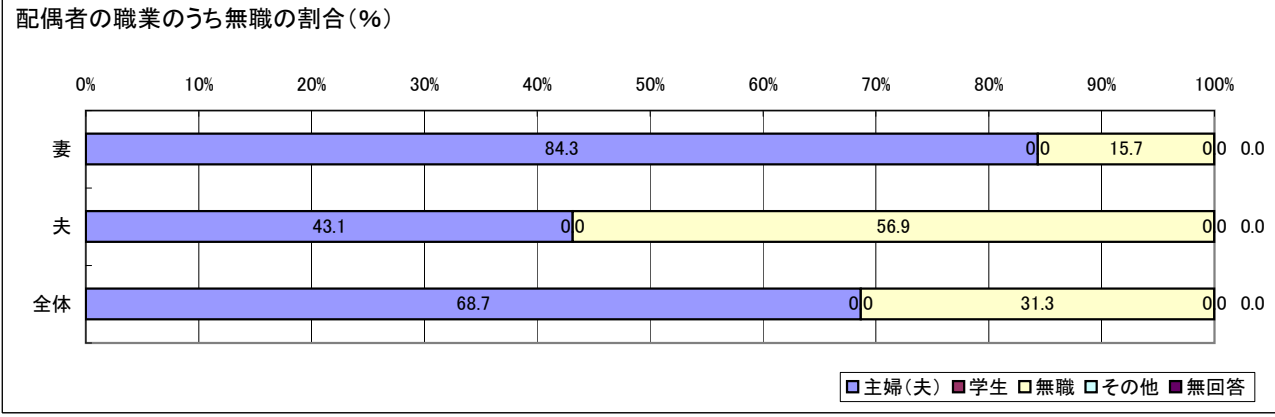
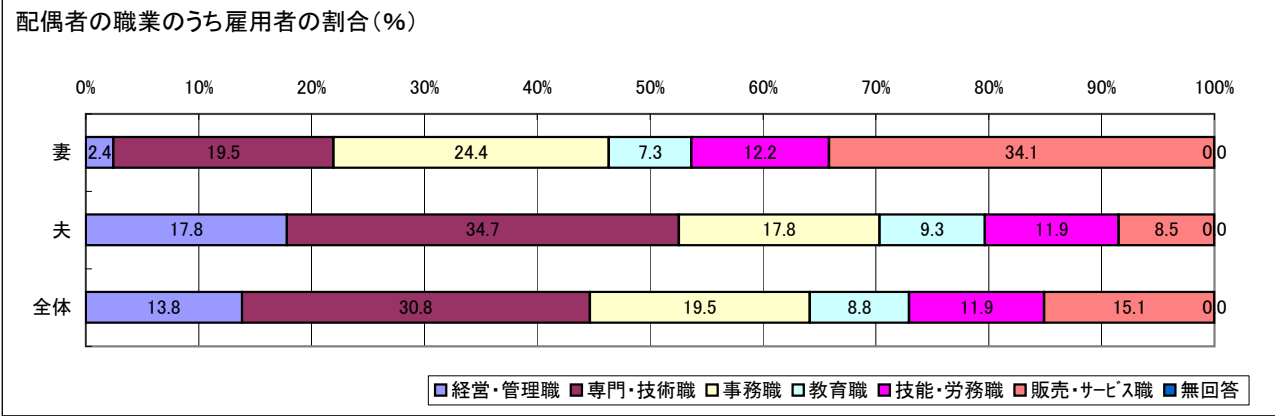
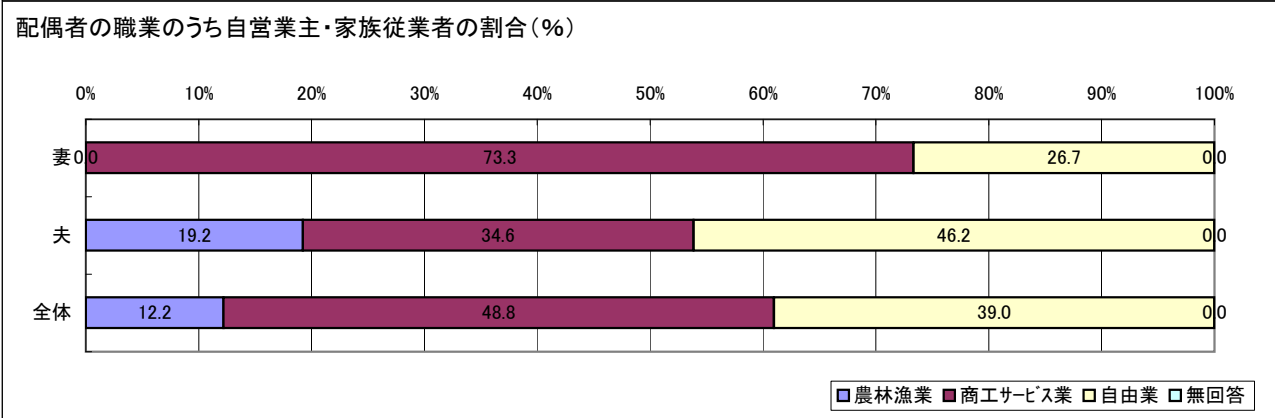
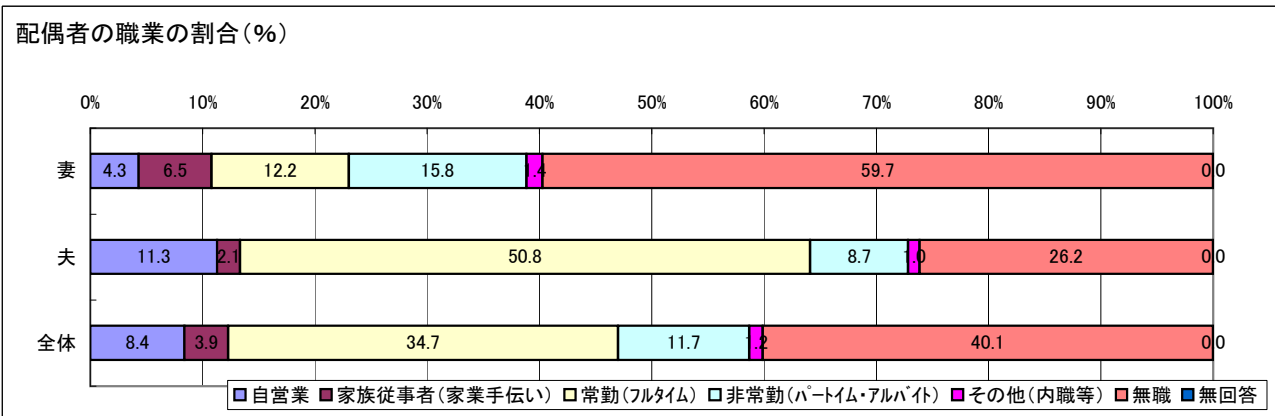
問3 あなたの現在のお仕事をお聞かせください。



問4 あなたは現在結婚していらっしゃいますか。



問5 あなたの配偶者のお仕事をお聞かせください。



考察

男女の地位に関する意識

家庭・職場・教育・地域・社会通念等の男女の地位(問6)

・「家庭生活の場の男女の地位」においては、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が4割以上を占めている。女性の回答者ほど男性が優遇視されていると思う傾向が強く、年齢層が高い程、その傾向が強まっていることが伺える。

・「職場の男女の地位」においては、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が4割以上を占めている。男女の意識は概ね同等だが、女性の回答者のうち、「わからない」との回答が2割強おり、職業を持っていない(無職の女性)が回答を避けたことが推察される。

・「学校教育の場の男女の地位」においては、男女ともに「平等」との回答が5割以上を占めており、他の設問と比べて男女の地位に関する意識は最も平等といえる。男女の意識は概ね同等だが、「女性の方が非常に優遇されている」との回答は1件もなかった。また「わからない」との回答が3割を超えており、あまり知られていないことが推察される。

・「社会通念・慣習・しきたりなどの男女の地位」においては、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が5割を以上を占めており、他の設問と比べて男性が優遇視されていると思う割合は最も高い。男女の意識は概ね同等だが、「女性の方が非常に優遇されている」との回答は1件もなかった。

社会全体における男女の地位(問7)

・「社会全体における地位の割合」では、男性を優遇視する回答が7割を超える状況にある。女性の回答者ほど男性が優遇視されていると思う傾向が強く、特に若年代層でその傾向が強い。また、「女性の方が非常に優遇されている」との回答は1件もなかった。

家庭生活等に関する意識

家事、育児、介護等の分担(問8)

・「食事の支度」においては、「妻」との回答が8割強を占めるのに対し、「夫」との回答は1%にも満たない。「夫と妻が同程度」との回答が1割弱であるが、その所要時間は平日、休日ともに5時間以下であり、大半は「妻」によって担われている状況にある。

・「食事の片付け」においては、支度と同様に「妻」との回答が多いが、1割程低い7割程度となっている。また、「家族全員」との回答も4%弱いる。支度と比較し「夫」が担うことも若干あるが、その所要時間は3時間以下であり、大半は「妻」によって担われている状況にある。

・「掃除」においては、「妻」との回答が7割程度となっている。「夫と妻が同程度」との回答も2割弱おり、「食事の支度」や「片付け」と比較して「夫」や「家族」が担いやすいことが推察される。

・「育児」においては、「わからない」との回答が4割程度となっているが、「育児を誰が分担しているかわからない」という意味ではなく、「育児をしていないのでわからない」の意味と推察される。「わからない」を除く選択肢の中で最も多いのは「妻」で、次いで「夫と妻が同程度」との回答が多いが、「夫」との回答は1件もなかった。

・「介護」においては、育児と同様の意味で「わからない」との回答が6割強となっている。「わからない」との回答を除く選択肢の中では、「育児」と同様に「妻」と「夫と妻が同程度」との回答が多い状況にある。

・家事・育児・介護等の分担の内、有職者の「共働き」、「片働き」との比較においては、全般的に「妻」によって担われているものの、「共働き」の方が弱冠ではあるが「妻」の負担が軽減していることが推察される。

固定的な考え方に対する気持ち(問9)

・「一生独身で暮らすより結婚した方がよい」との考え方に対する気持ちにおいては、「そう思う」との回答が全体で最も多く5割程度、次いで「どちらかといえばそう思う」との回答が2割強となっている。男性の回答者ほど考え方に対して肯定的な傾向が強く、「そう思う」との回答は女性が4割強に対し、男性は6割強と2割程の開きがあった。

・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との考え方に対する気持ちにおいては、「どちらともいえない」との回答が全体で最も多く3割程度、次いで「どちらかといえばそう思う」との回答が2割強となっている。年齢層が低いほど考え方に対して否定的な傾向が強く、女性の20歳代では約4割が「そう思わない」と回答した。

・「結婚したら子どもを持つべき」との考え方に対する気持ちにおいては、「そう思う」との回答が全体で最も多く5割弱、次いで「どちらかといえばそう思う」が2割強となっている。男性の回答者ほど考え方に対して肯定的な傾向が強く、「そう思う」との回答は女性が4割強に対し、男性は5割強と1割程の開きがあった。

・「夫婦間の愛情がなくなれば離婚した方がよい」との考え方に対する気持ちにおいては、「どちらともいえない」との回答が全体で最も多く3割強、次いで「どちらかといえばそう思う」との回答が2割弱となっている。男女の意識は概ね同等だが、女性の回答者ほど考え方に対して肯定的な傾向が強い。

女性が職業をもつこと(問10)

・「女性が職業をもつこと」についての気持ちにおいては、「子どもができれば職業を辞め、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」との回答が全体で最も多く4割強、次いで「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」が2割強となっている。男女の意識は概ね同等だが、その他の意見として「自己意思の尊重」、「家庭事情」で判断するべきとの考え方が多い状況にある。

女性が働きやすい環境に必要なこと(問11)

・「職業を続けることを希望する女性が働きやすい環境に必要なこと」については、「育児・介護休業等が取りやすい環境の整備」との回答が全体で最も多く6割程度となっている。次いで4割程度に「保育・介護の施設やサービスの充実」、「男女が協力して家事・育児等を担うという意識の普及」、4割弱に「女性が働きながら家事・育児等を行うことへの職場の理解」、「フレックスタイム制度等の多様な働き方ができる環境の整備」とほぼ同程度で必要とされているが男女で順位に違いがある。

女性が再就職しやすい環境に必要なこと(問12)

・「再就職を希望する女性が再就職しやすい環境に必要なこと」については、「年齢制限の緩和や再雇用制度等、採用枠の緩和」との回答が全体で最も多く7割弱、次いで「保育・介護の施設やサービスの充実」が5割程度となっている。情報提供や研修充実といった間接的な支援よりも、直接的な支援が望まれていることが推察される。

ワーク・ライフ・バランスの理想と現実(問13)

・仕事と家庭生活、地域活動の位置付けの「望ましいと思う位置付け(理想)」においては、男女で理想に大きな違いがあり、男性回答の1位が「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先したい」なのに対し、女性回答では「仕事と家庭生活や地域活動を両立したい」となっている。男性の回答者ほど仕事を優先視する傾向が強く、女性の回答者は両立を理想としていることが伺える。

・「理想」と同様に「現在の状況(現状)」においても、男女で違いが見られ、男性回答の1位が「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先している」なのに対し、女性回答では「家庭生活や地域活動を優先している」となっている。「男は仕事、女は家庭」という役割分業意識が根強いことが現状に表れていると推察される。

・理想と現状が合致している「理想の位置付け達成者」の割合では、最も理想とする回答が多かった「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先している」でも達成者はその内1割程度に留まり、その他の回答でも達成者は1割に満たない状況にある。回答者の大半が理想の位置付けを達成できていない状況にあり、「仕事」と「家庭生活や地域活動」の両立することの難しさが伺える。

男女共同参画の形成に関する意識

用語の認知度(問14)

・「用語毎の認知度の割合」においては、「男女共同参画社会(男女共同参画)」との回答が全体で5割強と最も多く、次いで「配偶者暴力相談支援センター」が4割弱、その他の用語についても2~3割と認知が進んでいる状況にある。しかし、「全体の用語の認知度の割合」では2割強が「知らない」との回答であり、積極的な周知が必要とされる。

行政が力を入れていくべきこと(問15)

・「行政が力を入れていくべきことの割合」については、「保育・介護の施設やサービスの充実」、「出産、育児等によりいったん仕事を辞めた人の再就職等の支援」との回答が6割程度、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及等、働き方を見直すための事業者への啓発」が4割程度となっている。人権を尊重する表現やNPO等の活動の場といった間接的な支援よりも、直接的な支援が望まれていることが推察される。

町の男女共同参画事業の認知度(問16)

・「町男女共同参画事業の認知度の割合」においては、「知らない」との回答が約9割を占めている。前問で「男女共同参画」の認知度が5割を超えているのに、町が実施する男女共同参画事業が知られていない状況にあり、積極的な周知が必要とされる。

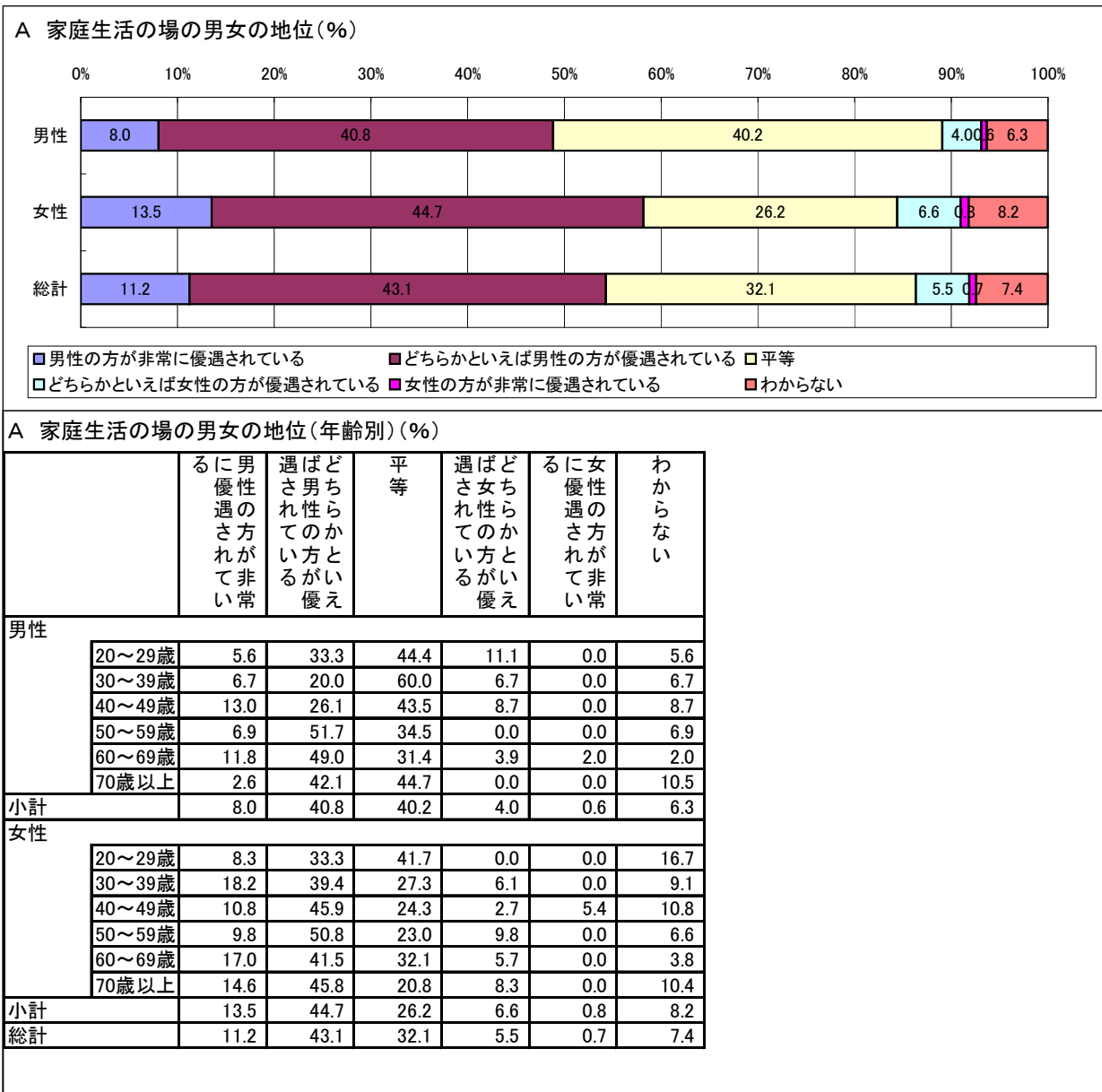
町情報の入手方法(問17)

・「町情報の入手方法の割合」においては、「町広報紙」との回答が9割以上を占めている。その他の回答は1割に満たないため、最も見られている広報媒体は紙ベースの広報紙であることが推察される。多くの情報を発信していくためには電子媒体の活用は不可欠であるため、広報紙を通じてホームページの周知を図る必要がある。

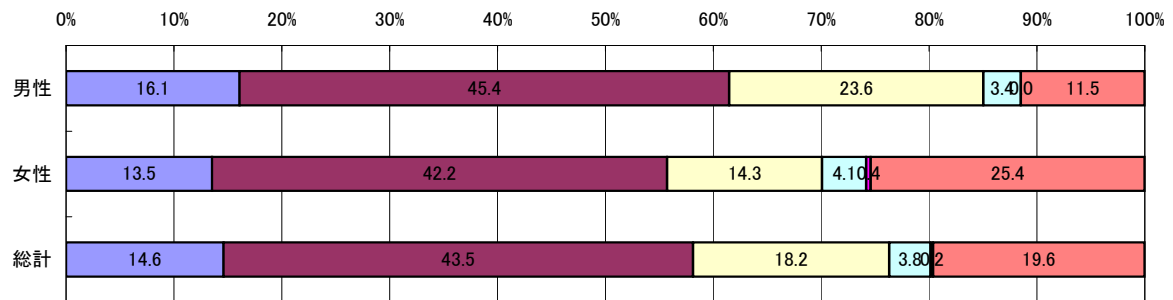
グラフ

男女の地位に関する意識

問6 あなたは次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次のAからDまでの各項目について、お気持ちに近いものをお聞かせください。



B 職場の男女の地位(%)

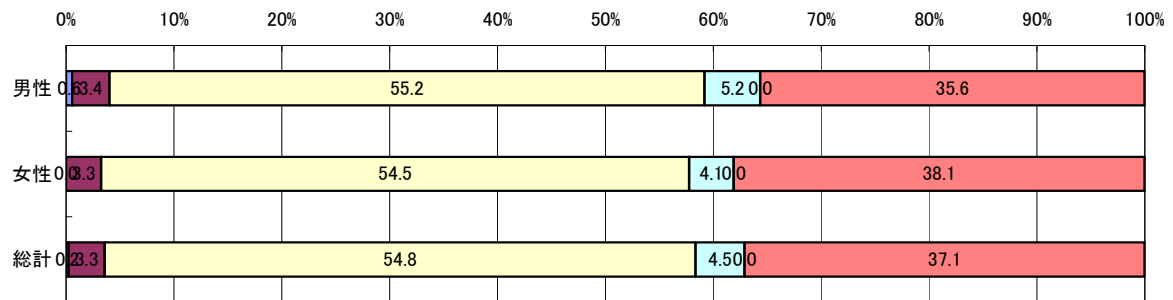


■ 男性の方が非常に優遇されている
 ■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 □ 平等
■ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 ■ わからない

B 職場の男女の地位(年齢別)(%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
男性						
20～29歳	16.7	38.9	27.8	11.1	0.0	5.6
30～39歳	20.0	26.7	46.7	6.7	0.0	0.0
40～49歳	13.0	52.2	21.7	4.3	0.0	8.7
50～59歳	6.9	55.2	27.6	3.4	0.0	6.9
60～69歳	23.5	39.2	27.5	0.0	0.0	9.8
70歳以上	13.2	52.6	5.3	2.6	0.0	26.3
小計	16.1	45.4	23.6	3.4	0.0	11.5
女性						
20～29歳	16.7	33.3	16.7	8.3	0.0	25.0
30～39歳	15.2	51.5	15.2	3.0	0.0	15.2
40～49歳	13.5	29.7	32.4	2.7	0.0	21.6
50～59歳	16.4	42.6	16.4	6.6	0.0	18.0
60～69歳	13.2	49.1	5.7	1.9	1.9	28.3
70歳以上	8.3	39.6	6.3	4.2	0.0	41.7
小計	13.5	42.2	14.3	4.1	0.4	25.4
総計	14.6	43.5	18.2	3.8	0.2	19.6

C 学校教育の場の男女の地位(%)

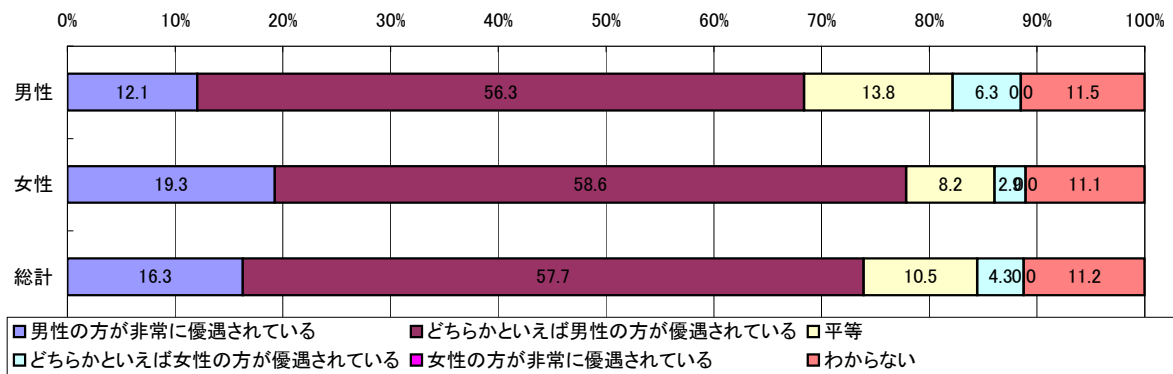


男性の方が非常に優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が非常に優遇されている
 わからない

C 学校教育の場の男女の地位(年齢別)(%)

	男性に優遇されている方が多い	どちらかといえば男性に優遇されている	平等	どちらかといえば女性に優遇されている	女性に優遇されている方が多い	わからない
男性						
20～29歳	5.6	5.6	66.7	11.1	0.0	11.1
30～39歳	0.0	6.7	40.0	13.3	0.0	40.0
40～49歳	0.0	4.3	60.9	0.0	0.0	34.8
50～59歳	0.0	3.4	65.5	6.9	0.0	24.1
60～69歳	0.0	3.9	47.1	3.9	0.0	45.1
70歳以上	0.0	0.0	55.3	2.6	0.0	42.1
小計	0.6	3.4	55.2	5.2	0.0	35.6
女性						
20～29歳	0.0	0.0	58.3	8.3	0.0	33.3
30～39歳	0.0	0.0	60.6	0.0	0.0	39.4
40～49歳	0.0	2.7	70.3	0.0	0.0	27.0
50～59歳	0.0	3.3	59.0	13.1	0.0	24.6
60～69歳	0.0	5.7	45.3	1.9	0.0	47.2
70歳以上	0.0	4.2	41.7	0.0	0.0	54.2
小計	0.0	3.3	54.5	4.1	0.0	38.1
総計	0.2	3.3	54.8	4.5	0.0	37.1

D 社会通念・習慣・しきたりなどの男女の地位 (%)

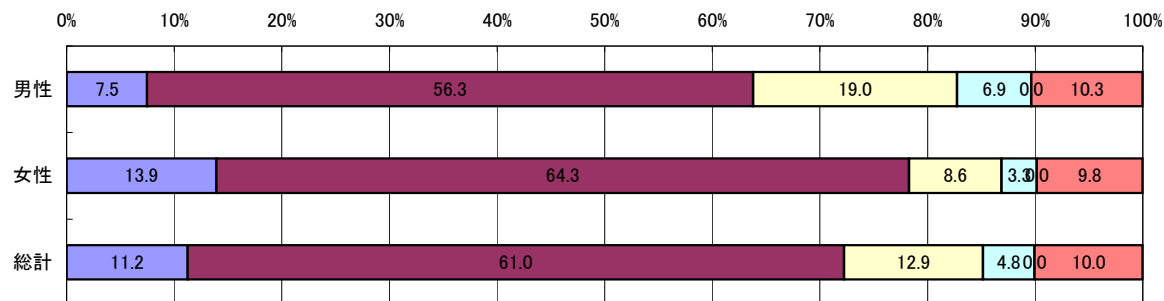


D 社会通念・慣習・しきたりなどの男女の地位 (年齢別) (%)

	るに男 優性 遇の さ方 れが て非 い常	遇ばど さ男 れ性 ての か い方 るが い優	平 等	遇ばど さ女 れ性 ての か い方 るが い優	るに女 優性 遇の さ方 れが て非 い常	わ か ら な い
男性						
20～29歳	16.7	50.0	0.0	11.1	0.0	22.2
30～39歳	20.0	40.0	13.3	13.3	0.0	13.3
40～49歳	13.0	60.9	17.4	4.3	0.0	4.3
50～59歳	6.9	65.5	24.1	3.4	0.0	0.0
60～69歳	13.7	60.8	11.8	7.8	0.0	5.9
70歳以上	7.9	50.0	13.2	2.6	0.0	26.3
小計	12.1	56.3	13.8	6.3	0.0	11.5
女性						
20～29歳	25.0	33.3	33.3	0.0	0.0	8.3
30～39歳	24.2	60.6	6.1	3.0	0.0	6.1
40～49歳	18.9	59.5	2.7	8.1	0.0	10.8
50～59歳	19.7	59.0	6.6	4.9	0.0	9.8
60～69歳	18.9	71.7	7.5	0.0	0.0	1.9
70歳以上	14.6	47.9	10.4	0.0	0.0	27.1
小計	19.3	58.6	8.2	2.9	0.0	11.1
総計	16.3	57.7	10.5	4.3	0.0	11.2

問7 あなたは社会全体で見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。
お気持ちに近いものをお聞かせください。

社会全体における地位の割合(%)



男性の方が非常に優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が非常に優遇されている
 わからない

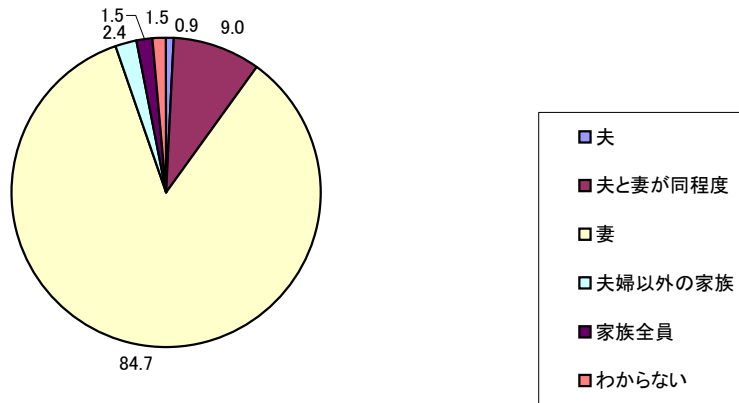
社会全体での地位の割合(年齢別)(%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
男性						
20～29歳	5.6	55.6	0.0	22.2	0.0	16.7
30～39歳	20.0	33.3	26.7	20.0	0.0	0.0
40～49歳	8.7	56.5	17.4	4.3	0.0	13.0
50～59歳	3.4	65.5	24.1	3.4	0.0	3.4
60～69歳	7.8	62.7	19.6	5.9	0.0	3.9
70歳以上	5.3	50.0	21.1	0.0	0.0	23.7
小計	7.5	56.3	19.0	6.9	0.0	10.3
女性						
20～29歳	16.7	75.0	8.3	0.0	0.0	0.0
30～39歳	6.1	78.8	9.1	3.0	0.0	3.0
40～49歳	13.5	62.2	2.7	2.7	0.0	18.9
50～59歳	21.3	59.0	9.8	4.9	0.0	4.9
60～69歳	11.3	69.8	11.3	1.9	0.0	5.7
70歳以上	12.5	54.2	8.3	4.2	0.0	20.8
小計	13.9	64.3	8.6	3.3	0.0	9.8
総計	11.2	61.0	12.9	4.8	0.0	10.0

家庭生活等に関する意識

問8 あなたの家庭では次にあげるような家事等を主に誰が分担して行っていますか。次のAからEまでの各項目について、あてはまるものをお聞かせください。また、その家事等にかかる時間についてもお聞かせください。(平日、休日の所用時間)

A 食事の支度(%)



A 食事の支度(時間別)

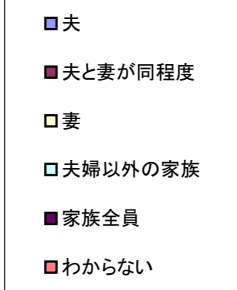
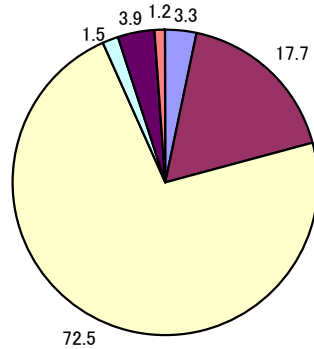
食事の支度にかかる所要時間(平日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	7.0	74.4	7.0	0.0	11.6
1時間以内	0.0	18.3	71.7	5.0	5.0	0.0
1時間以上～3時間以下	1.0	6.7	90.2	1.0	1.0	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	3.8	96.2	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	9.1	18.2	72.7	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	0.9	9.0	84.7	2.4	1.5	1.5

食事の支度にかかる所要時間(休日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	2.2	6.7	71.1	8.9	0.0	11.1
1時間以内	0.0	13.8	79.3	3.4	3.4	0.0
1時間以上～3時間以下	1.0	9.2	87.2	1.0	1.5	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	4.2	95.8	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	0.9	9.0	84.7	2.4	1.5	1.5

B 食事の片付け(%)



B 食事の片付け(時間別)

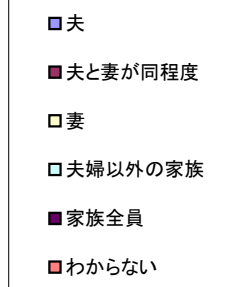
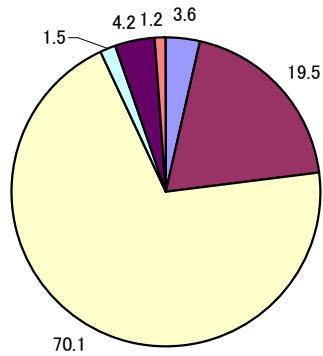
食事の片付けにかかる所要時間(平日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	13.0	69.6	4.3	4.3	8.7
1時間以内	3.3	19.9	71.6	1.4	3.8	0.0
1時間以上～3時間以下	5.4	14.9	75.7	0.0	4.1	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3.3	17.7	72.5	1.5	3.9	1.2

食事の片付けにかかる所要時間(休日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	12.8	70.2	4.3	4.3	8.5
1時間以内	3.0	20.9	70.6	1.5	4.0	0.0
1時間以上～3時間以下	6.0	13.3	77.1	0.0	3.6	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3.3	17.7	72.5	1.5	3.9	1.2

C 掃除(%)



C 掃除(時間別)

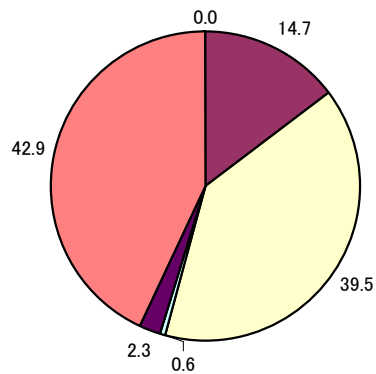
掃除にかかる所要時間(平日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	3.8	19.2	63.5	1.9	3.8	7.7
1時間以内	3.8	21.8	67.8	1.4	5.2	0.0
1時間以上～3時間以下	3.0	13.6	80.3	1.5	1.5	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3.6	19.5	70.1	1.5	4.2	1.2

掃除にかかる所要時間(休日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	3.1	18.8	68.8	1.6	1.6	6.3
1時間以内	4.0	21.0	68.0	1.5	5.5	0.0
1時間以上～3時間以下	3.1	15.4	76.9	1.5	3.1	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3.6	19.5	70.1	1.5	4.2	1.2

D 育児 (%)



- 夫
- 夫と妻が同程度
- 妻
- 夫婦以外の家族
- 家族全員
- わからない

D 育児(時間別)

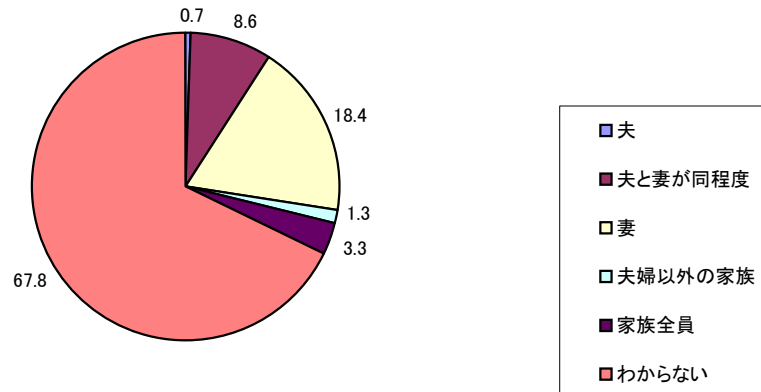
育児にかかる所要時間(平日) (%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	10.0	25.8	0.8	0.8	62.5
1時間以内	0.0	40.0	53.3	0.0	6.7	0.0
1時間以上～3時間以下	0.0	30.0	60.0	0.0	10.0	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	11.1	77.8	0.0	0.0	11.1
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	25.0	68.8	0.0	6.3	0.0
総計	0.0	14.7	39.5	0.6	2.3	42.9

育児にかかる所要時間(休日) (%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	11.1	27.0	0.8	1.6	59.5
1時間以内	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
1時間以上～3時間以下	0.0	18.2	81.8	0.0	0.0	0.0
3時間以上～5時間以下	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7
5時間以上～10時間以下	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	28.6	66.7	0.0	4.8	0.0
総計	0.0	14.7	39.5	0.6	2.3	42.9

E 介護(%)



E 介護(時間別)

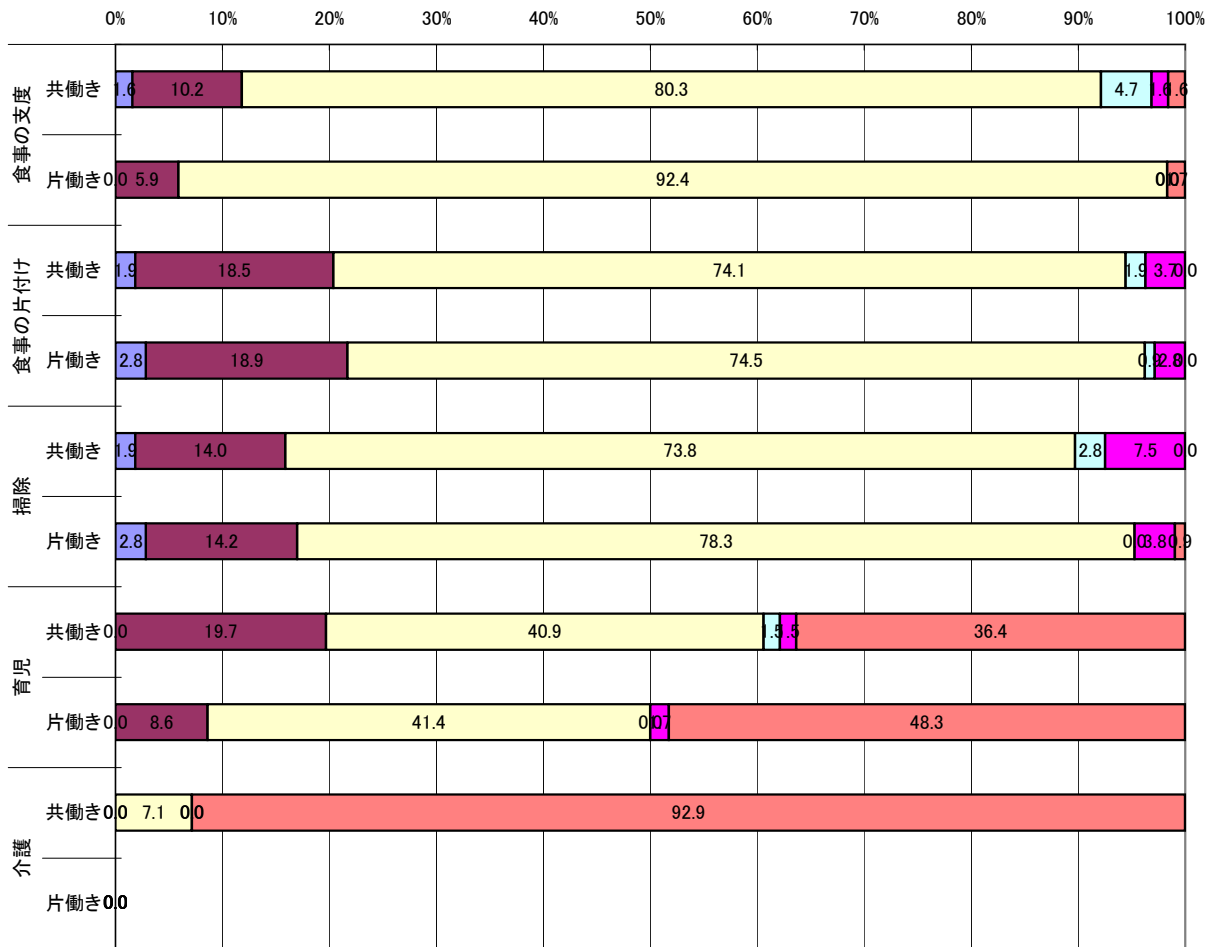
介護にかかる所要時間(平日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	8.6	7.8	1.6	2.3	79.7
1時間以内	0.0	14.3	71.4	0.0	14.3	0.0
1時間以上～3時間以下	0.0	11.1	77.8	0.0	0.0	11.1
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
総計	0.7	8.6	18.4	1.3	3.3	67.8

介護にかかる所要時間(休日)(%)

	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
0時間	0.0	8.5	9.2	1.5	2.3	78.5
1時間以内	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
1時間以上～3時間以下	0.0	11.1	66.7	0.0	11.1	11.1
3時間以上～5時間以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5時間以上～10時間以下	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
10時間以上～24時間以下	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
総計	0.7	8.6	18.4	1.3	3.3	67.8

家事・育児・介護等の分担(有職者の比較)



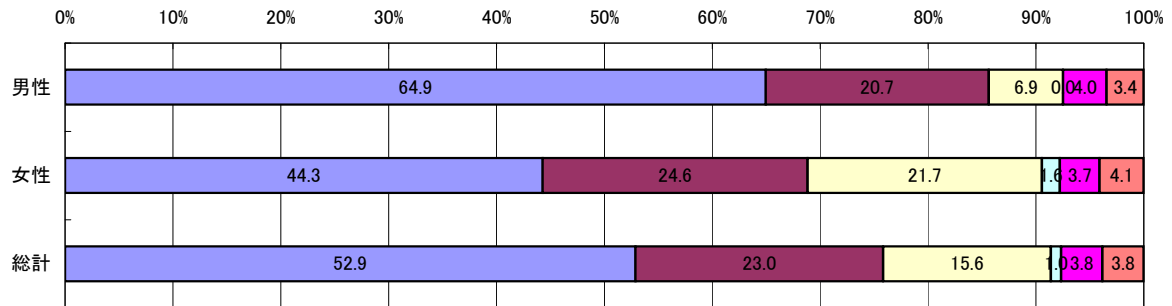
□夫 □夫と妻が同程度 □妻 □夫婦以外の家族 □家族全員 □わからない

家事・育児・介護等の分担の割合(有職者の比較)(%)

家事・育児・介護等の分担	働き方	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない
食事の支度	共働き	1.6	10.2	80.3	4.7	1.6	1.6
	片働き	0.0	5.9	92.4	0.0	0.0	1.7
食事の片付け	共働き	1.9	18.5	74.1	1.9	3.7	0.0
	片働き	2.8	18.9	74.5	0.9	2.8	0.0
掃除	共働き	1.9	14.0	73.8	2.8	7.5	0.0
	片働き	2.8	14.2	78.3	0.0	3.8	0.9
育児	共働き	0.0	19.7	40.9	1.5	1.5	36.4
	片働き	0.0	8.6	41.4	0.0	1.7	48.3
介護	共働き	0.0	7.1	92.9	0.0	0.0	92.9
	片働き	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問9 あなたは次にあげるような考え方についてどのように思いますか。
次のAからDまでの各項目について、お気持ちに近いものをお聞かせください。

A 一生独身で暮らすより結婚した方がよい(%)

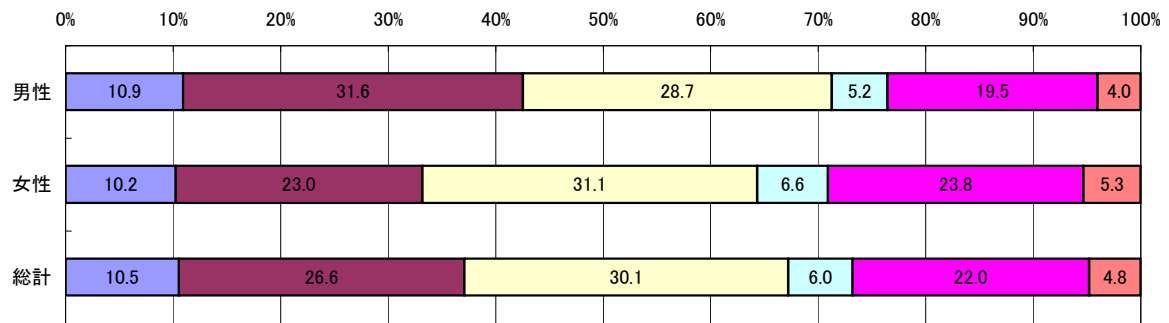


■そう思う ■どちらかといえばそう思う □どちらともいえない □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない ■わからない

A 一生独身で暮らすより結婚した方がよい(年齢別)(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
男性						
20～29歳	55.6	16.7	11.1	0.0	5.6	11.1
30～39歳	60.0	26.7	6.7	0.0	6.7	0.0
40～49歳	56.5	26.1	8.7	0.0	4.3	4.3
50～59歳	69.0	17.2	10.3	0.0	3.4	0.0
60～69歳	66.7	25.5	5.9	0.0	0.0	2.0
70歳以上	71.1	13.2	2.6	0.0	7.9	5.3
小計	64.9	20.7	6.9	0.0	4.0	3.4
女性						
20～29歳	58.3	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3
30～39歳	48.5	30.3	15.2	0.0	6.1	0.0
40～49歳	35.1	29.7	27.0	2.7	5.4	0.0
50～59歳	37.7	24.6	29.5	3.3	1.6	3.3
60～69歳	41.5	26.4	20.8	1.9	3.8	5.7
70歳以上	56.3	16.7	14.6	0.0	4.2	8.3
小計	44.3	24.6	21.7	1.6	3.7	4.1
総計	52.9	23.0	15.6	1.0	3.8	3.8

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき(%)

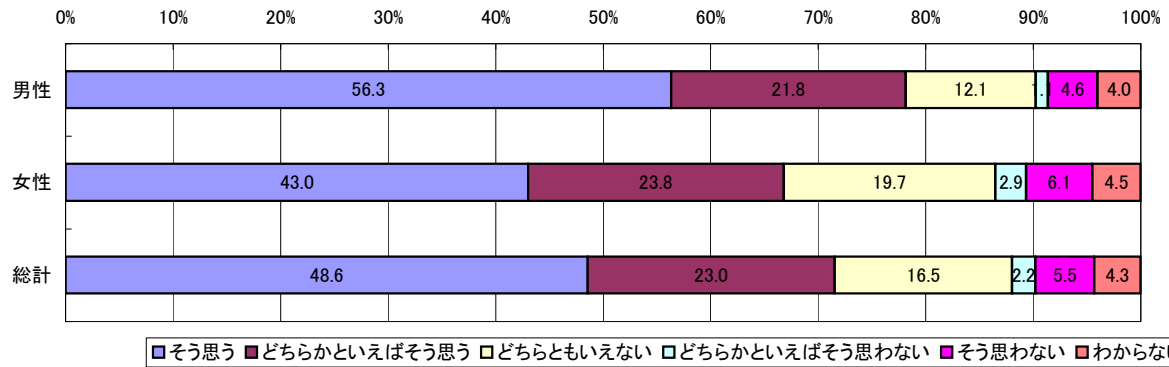


□そう思う ■どちらかといえばそう思う □どちらともいえない □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない ■わからない

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき(年齢別)(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
男性						
20～29歳	0.0	16.7	44.4	0.0	33.3	5.6
30～39歳	6.7	13.3	20.0	6.7	53.3	0.0
40～49歳	0.0	30.4	26.1	8.7	30.4	4.3
50～59歳	6.9	34.5	27.6	6.9	20.7	3.4
60～69歳	13.7	45.1	21.6	5.9	9.8	3.9
70歳以上	23.7	26.3	36.8	2.6	5.3	5.3
小計	10.9	31.6	28.7	5.2	19.5	4.0
女性						
20～29歳	8.3	0.0	33.3	16.7	41.7	0.0
30～39歳	9.1	21.2	33.3	0.0	36.4	0.0
40～49歳	8.1	27.0	21.6	10.8	29.7	2.7
50～59歳	3.3	21.3	44.3	6.6	23.0	1.6
60～69歳	13.2	20.8	34.0	5.7	18.9	7.5
70歳以上	18.8	31.3	16.7	6.3	12.5	14.6
小計	10.2	23.0	31.1	6.6	23.8	5.3
総計	10.5	26.6	30.1	6.0	22.0	4.8

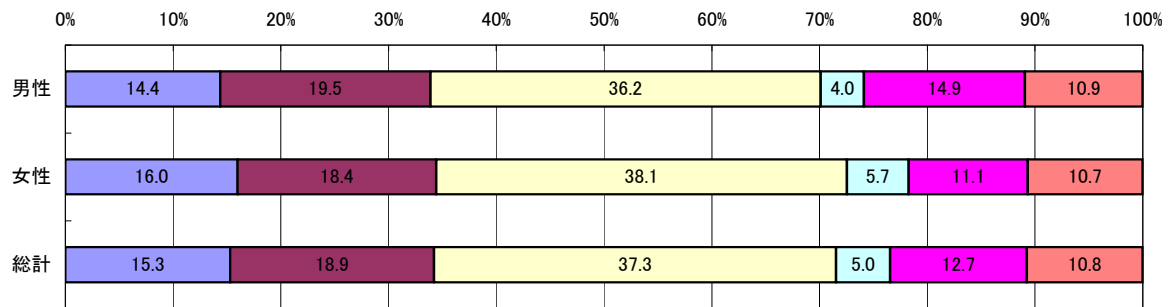
C 結婚したら子どもを持つべき(%)



C 結婚したら子どもを持つべき(年齢別)(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
男性						
20～29歳	55.6	22.2	11.1	0.0	5.6	5.6
30～39歳	26.7	26.7	26.7	6.7	13.3	0.0
40～49歳	52.2	17.4	17.4	0.0	4.3	8.7
50～59歳	55.2	20.7	20.7	0.0	0.0	3.4
60～69歳	60.8	29.4	5.9	0.0	2.0	2.0
70歳以上	65.8	13.2	5.3	2.6	7.9	5.3
小計	56.3	21.8	12.1	1.1	4.6	4.0
女性						
20～29歳	41.7	25.0	8.3	0.0	25.0	0.0
30～39歳	27.3	27.3	30.3	0.0	15.2	0.0
40～49歳	18.9	29.7	32.4	8.1	5.4	5.4
50～59歳	37.7	26.2	29.5	0.0	3.3	3.3
60～69歳	49.1	24.5	11.3	5.7	3.8	5.7
70歳以上	72.9	12.5	2.1	2.1	2.1	8.3
小計	43.0	23.8	19.7	2.9	6.1	4.5
総計	48.6	23.0	16.5	2.2	5.5	4.3

D 夫婦間の愛情がなくなれば離婚した方がよい(%)

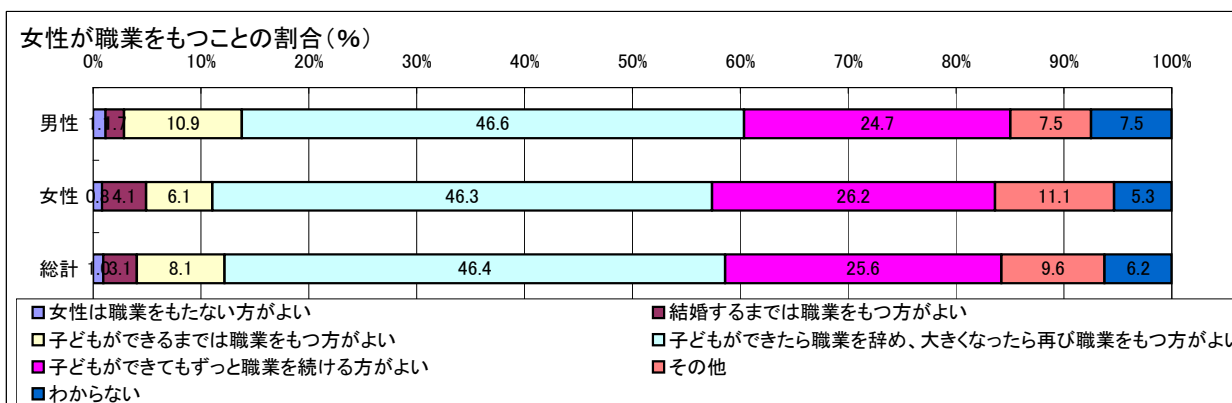


□そう思う ■どちらかといえばそう思う □どちらともいえない □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない ■わからない

D 夫婦間の愛情がなくなれば離婚した方がよい(年齢別)(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
男性						
20～29歳	11.1	22.2	44.4	5.6	11.1	5.6
30～39歳	20.0	13.3	26.7	6.7	26.7	6.7
40～49歳	13.0	26.1	30.4	4.3	13.0	13.0
50～59歳	24.1	17.2	34.5	0.0	17.2	6.9
60～69歳	15.7	15.7	41.2	5.9	9.8	11.8
70歳以上	5.3	23.7	34.2	2.6	18.4	15.8
小計	14.4	19.5	36.2	4.0	14.9	10.9
女性						
20～29歳	16.7	0.0	58.3	8.3	0.0	16.7
30～39歳	12.1	21.2	45.5	3.0	15.2	3.0
40～49歳	21.6	18.9	29.7	2.7	13.5	13.5
50～59歳	16.4	21.3	34.4	4.9	13.1	9.8
60～69歳	7.5	18.9	45.3	9.4	9.4	9.4
70歳以上	22.9	16.7	31.3	6.3	8.3	14.6
小計	16.0	18.4	38.1	5.7	11.1	10.7
総計	15.3	18.9	37.3	5.0	12.7	10.8

問10 あなたは一般的に女性が職業をもつことについてどのように思いますか。
お気持ちに近いものをお聞かせください。



女性が職業をもつことの割合(年齢別)(%)

	が女性 は職業 をもた ない方	結 婚が する ま で は 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ども が で き る ま で は 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ども が で き て ず っ と 職 業 を 続 け る 方 が よ い	結 婚 す る ま で は 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ども が で きた ら 職 業 を 辞 め、 大き くな たら 再 び 職 業 を も つ 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い
男性								
20～29歳	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	22.2	11.1	
30～39歳	0.0	0.0	0.0	40.0	33.3	20.0	6.7	
40～49歳	0.0	0.0	8.7	47.8	21.7	8.7	13.0	
50～59歳	0.0	0.0	3.4	65.5	24.1	6.9	0.0	
60～69歳	3.9	2.0	15.7	51.0	19.6	2.0	5.9	
70歳以上	0.0	5.3	21.1	34.2	26.3	2.6	10.5	
小計	1.1	1.7	10.9	46.6	24.7	7.5	7.5	
女性								
20～29歳	0.0	0.0	0.0	33.3	41.7	25.0	0.0	
30～39歳	0.0	3.0	6.1	30.3	36.4	18.2	6.1	
40～49歳	2.7	5.4	5.4	37.8	27.0	21.6	0.0	
50～59歳	0.0	3.3	1.6	52.5	27.9	9.8	4.9	
60～69歳	1.9	1.9	3.8	54.7	22.6	7.5	7.5	
70歳以上	0.0	8.3	16.7	50.0	16.7	0.0	8.3	
小計	0.8	4.1	6.1	46.3	26.2	11.1	5.3	
総計	1.0	3.1	8.1	46.4	25.6	9.6	6.2	

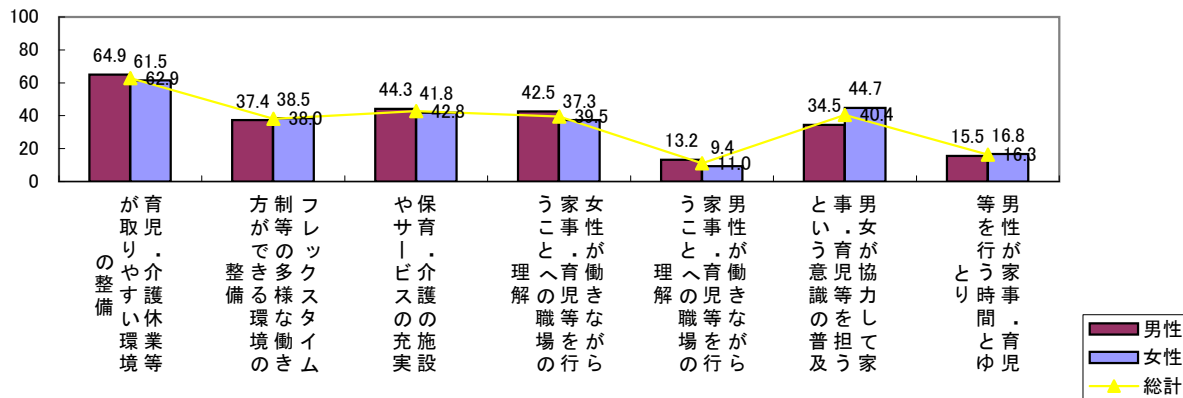
その他

- ・多様な生き方を尊重し、個人の信念によって自由に決めるべき。×25件
- ・家庭状況や周りの環境等、自分の生活状況によって決めるべき。×16件
- ・社会的貢献や、自分自身が向上、充実できるのなら続けるべき。×2件
- ・子どもができたなら時間を短縮し、ずっと職業を続けるべき。
- ・結婚したら職業を辞め、パートで続けるべき。
- ・男性も家事に参加するべき。(男性が職業を辞めて育児を行う等)×3件
- ・生活のためには働くべきだが、社会(職場環境)が整備されておらず辞めざるを得ない。

問11 あなたは職業を続けることを希望する女性が働きやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものをお聞かせください。

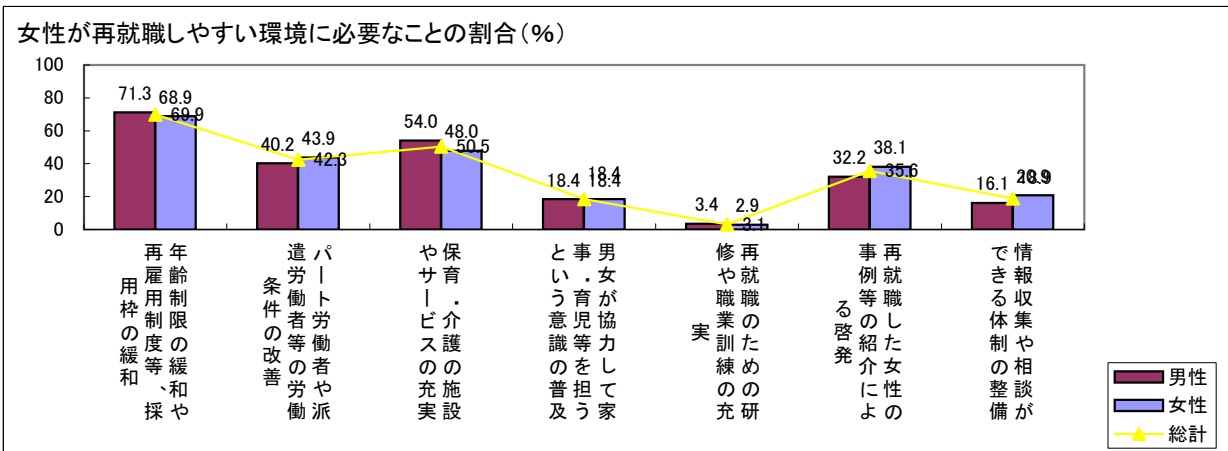
女性が働きやすい環境に必要なことの割合(%)



女性が働きやすい環境に必要なことの割合(年齢別)(%)

	育児・介護休業等の整備	多様な働き方の整備	フレックスタイムなど多様な働き方の整備	保育・介護の充実	女性が働きながら家事・育児等を行うことへの理解	男性が働きながら家事・育児等を行うことへの理解	普及	男女が協力して家事・育児等を担うという意識の普及	男性が家事・育児を行う時間とゆとり
男性									
20～29歳	8.6	4.0	5.2	2.3	3.4	3.4	2.9		
30～39歳	5.7	3.4	2.9	4.0	2.3	2.9	0.6		
40～49歳	6.3	5.2	4.6	5.2	2.3	4.0	3.4		
50～59歳	11.5	9.8	9.2	7.5	1.1	5.2	4.0		
60～69歳	19.0	8.6	13.2	13.8	4.0	8.6	2.3		
70歳以上	13.8	6.3	9.2	9.8	0.0	10.3	2.3		
小計	64.9	37.4	44.3	42.5	13.2	34.5	15.5		
女性									
20～29歳	3.7	1.6	2.0	2.0	1.6	0.8	1.2		
30～39歳	8.2	7.0	7.0	5.7	1.6	4.5	3.7		
40～49歳	8.2	6.6	7.4	4.5	1.6	7.8	3.3		
50～59歳	17.2	11.5	11.5	10.2	2.0	13.1	3.3		
60～69歳	13.5	7.8	6.6	7.8	0.8	9.8	4.1		
70歳以上	10.7	4.1	7.4	7.0	1.6	8.6	1.2		
小計	61.5	38.5	41.8	37.3	9.4	44.7	16.8		
総計	62.9	38.0	42.8	39.5	11.0	40.4	16.3		

問12 あなたは再就職を希望する女性が再就職しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。



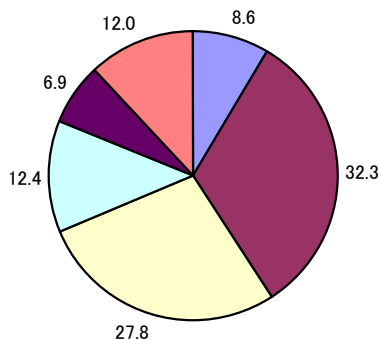
女性が再就職しやすい環境に必要なことの割合(年齢別)(%)

	再雇用制限の緩和や採用枠の緩和	パート労働者や派遣労働者等の労働条件の改善	保育・介護の施設やサービスの充実	男女が協力して家事・育児等を担うという意識の普及	再就職のための研修や職業訓練の充実	再就職した女性の事例等の紹介による啓発	情報収集や相談ができる体制の整備
男性							
20～29歳	7.5	3.4	5.7	0.6	0.6	3.4	1.7
30～39歳	5.7	2.9	4.0	1.7	1.1	1.7	2.9
40～49歳	9.8	4.6	4.6	2.9	0.6	3.4	2.3
50～59歳	13.2	9.2	12.1	3.4	0.6	4.6	2.9
60～69歳	22.4	10.3	16.1	6.3	0.0	10.9	3.4
70歳以上	12.6	9.8	11.5	3.4	0.6	8.0	2.9
小計	71.3	40.2	54.0	18.4	3.4	32.2	16.1
女性							
20～29歳	2.0	3.3	3.7	1.2	0.8	1.6	0.0
30～39歳	11.9	6.6	7.8	1.2	0.4	5.3	3.7
40～49歳	10.7	8.2	9.0	2.5	0.0	6.1	1.6
50～59歳	20.1	11.1	13.1	4.5	0.8	9.4	6.6
60～69歳	15.2	7.8	8.2	5.3	0.8	9.0	3.7
70歳以上	9.0	7.0	6.1	3.7	0.0	6.6	5.3
小計	68.9	43.9	48.0	18.4	2.9	38.1	20.9
総計	69.9	42.3	50.5	18.4	3.1	35.6	18.9

問13 あなたは一般的に仕事と家庭生活や地域活動(町内会・PTA・ボランティア)の位置付けについてどのように思いますか。また、位置付けて行っていますか。

次のAからBまでの各項目について、あてはまるものをお聞かせください。

A 望ましいと思う位置付け(%)

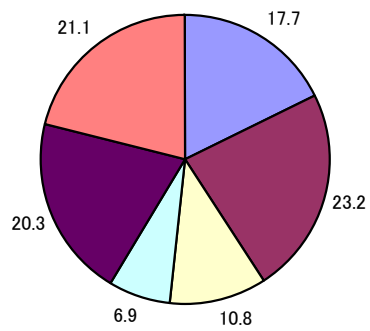


- 仕事を優先したい
- 家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先したい
- 仕事と家庭生活や地域活動を両立したい
- 仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先したい
- 家庭生活や地域活動を優先したい
- わからない

A 望ましいと思う位置付け(年齢別)(%)

	仕事を優先したい	家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先したい	仕事と家庭生活や地域活動を両立したい	仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先したい	家庭生活や地域活動を優先したい	わからない
男性						
20～29歳	16.7	33.3	11.1	27.8	0.0	11.1
30～39歳	20.0	40.0	26.7	13.3	0.0	0.0
40～49歳	8.7	52.2	26.1	4.3	0.0	8.7
50～59歳	13.8	37.9	34.5	10.3	0.0	3.4
60～69歳	7.8	54.9	21.6	2.0	3.9	9.8
70歳以上	10.5	52.6	10.5	2.6	0.0	23.7
小計	11.5	47.7	21.3	7.5	1.1	10.9
女性						
20～29歳	33.3	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3
30～39歳	0.0	24.2	36.4	18.2	6.1	15.2
40～49歳	2.7	18.9	43.2	24.3	5.4	5.4
50～59歳	3.3	19.7	39.3	19.7	14.8	3.3
60～69歳	7.5	28.3	26.4	15.1	7.5	15.1
70歳以上	10.4	16.7	20.8	6.3	18.8	27.1
小計	6.6	21.3	32.4	16.0	11.1	12.7
総計	8.6	32.3	27.8	12.4	6.9	12.0

B 現在の状況(%)

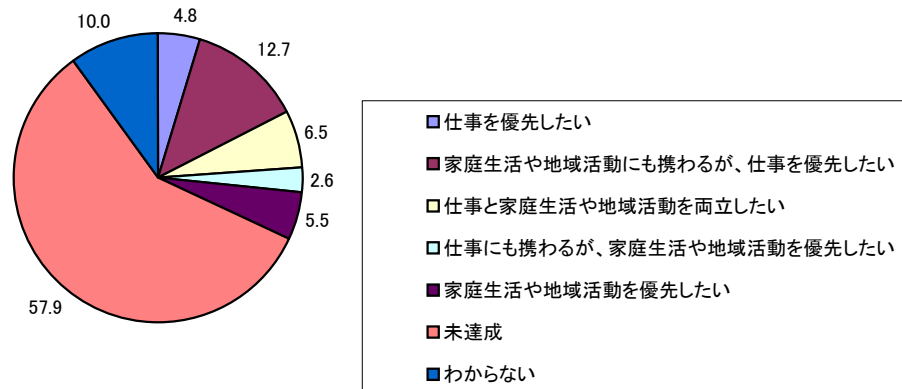


- 仕事を優先している
- 家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先している
- 仕事と家庭生活や地域活動を両立している
- 仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先している
- 家庭生活や地域活動を優先している
- わからない

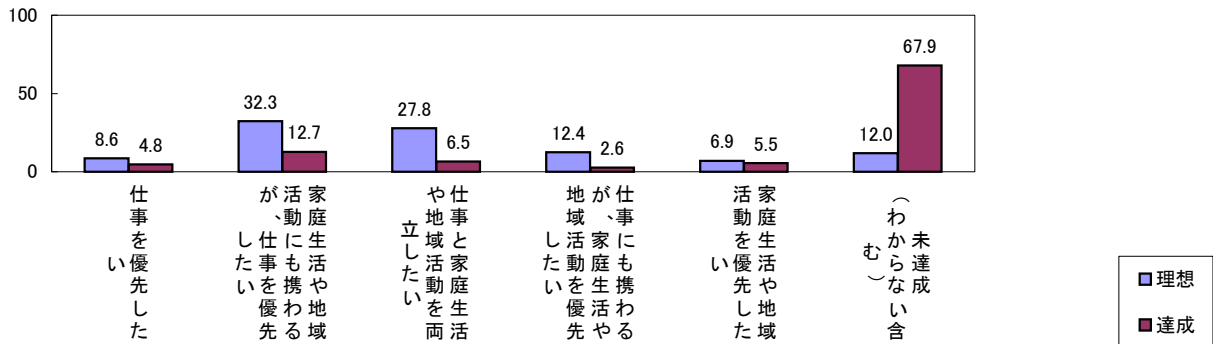
B 現在の状況(年齢別)(%)

	仕事を優先している	携わるが、家庭生活や地域活動を優先している	仕事と家庭生活や地域活動を両立している	仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先している	家庭生活や地域活動を優先している	わからない
男性						
20～29歳	55.6	16.7	5.6	0.0	5.6	16.7
30～39歳	26.7	40.0	13.3	6.7	0.0	13.3
40～49歳	39.1	52.2	0.0	0.0	0.0	8.7
50～59歳	48.3	34.5	3.4	3.4	3.4	6.9
60～69歳	15.7	41.2	11.8	0.0	15.7	15.7
70歳以上	10.5	21.1	7.9	2.6	21.1	36.8
小計	28.2	34.5	7.5	1.7	10.3	17.8
女性						
20～29歳	33.3	0.0	8.3	8.3	0.0	50.0
30～39歳	18.2	15.2	9.1	3.0	39.4	15.2
40～49歳	8.1	18.9	16.2	35.1	13.5	8.1
50～59歳	8.2	23.0	21.3	6.6	27.9	13.1
60～69歳	9.4	11.3	7.5	7.5	32.1	32.1
70歳以上	4.2	10.4	10.4	6.3	31.3	37.5
小計	10.2	15.2	13.1	10.7	27.5	23.4
総計	17.7	23.2	10.8	6.9	20.3	21.1

理想の位置付けの達成者の割合(%)



理想と達成の比較(%)

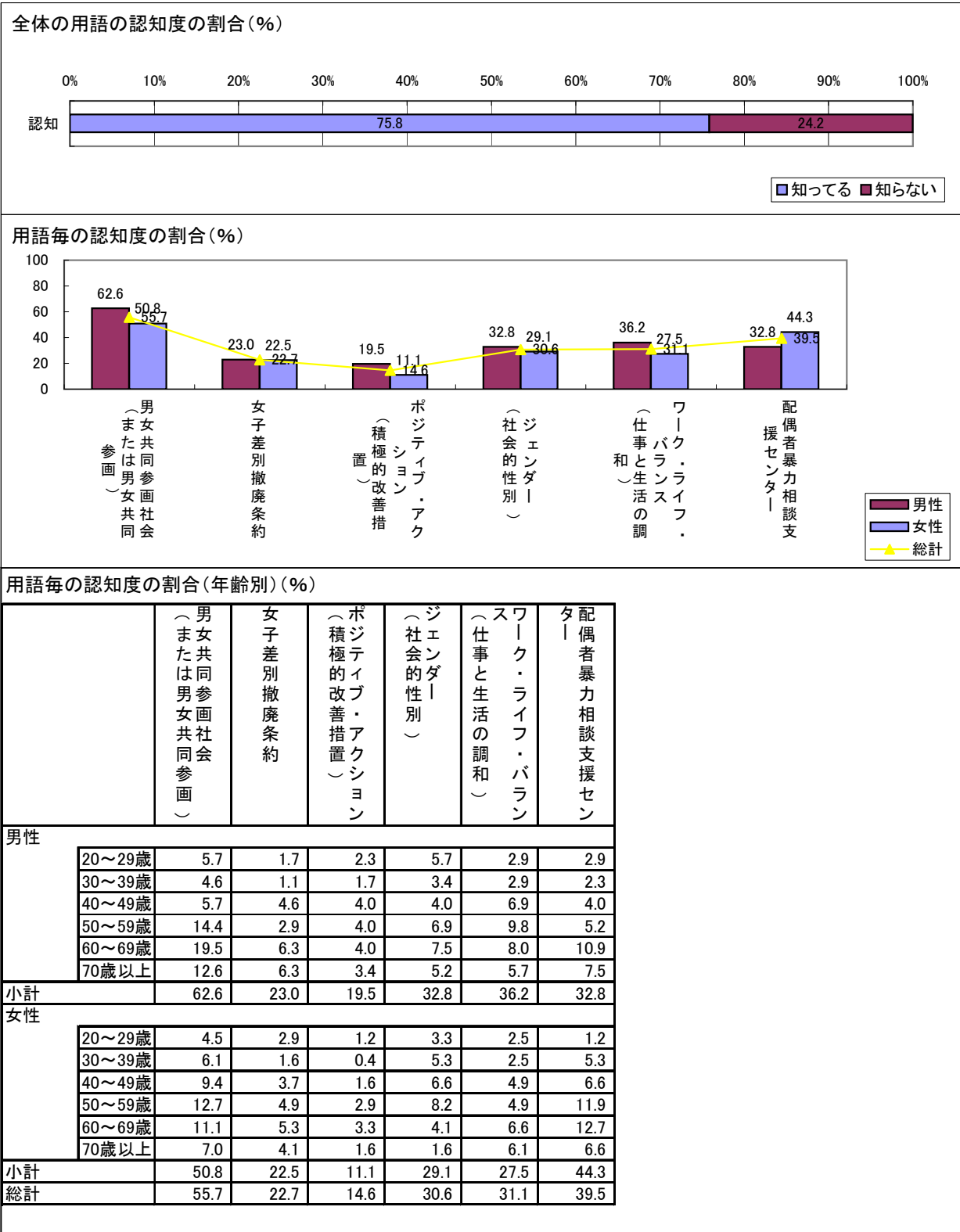


理想の位置付けの達成者の割合(年齢別)(%)

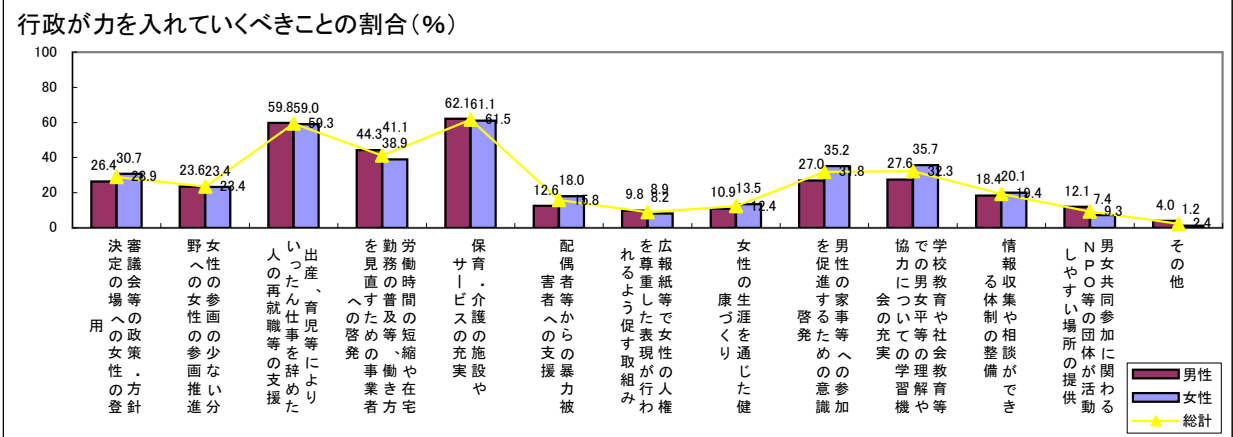
	仕事を優先したい	家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先したい	仕事と家庭生活や地域活動を両立したい	仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先したい	家庭生活や地域活動を優先したい	未達成	わからない
男性							
20～29歳	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	72.2	5.6
30～39歳	20.0	20.0	6.7	6.7	0.0	46.7	0.0
40～49歳	8.7	30.4	0.0	0.0	0.0	52.2	8.7
50～59歳	13.8	17.2	3.4	3.4	0.0	62.1	0.0
60～69歳	5.9	31.4	5.9	0.0	3.9	43.1	9.8
70歳以上	2.6	15.8	0.0	0.0	0.0	63.2	18.4
小計	8.6	21.8	3.4	1.1	1.1	55.2	8.6
女性							
20～29歳	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	66.7	8.3
30～39歳	0.0	6.1	9.1	0.0	6.1	72.7	6.1
40～49歳	0.0	10.8	8.1	18.9	2.7	54.1	5.4
50～59歳	1.6	6.6	16.4	1.6	13.1	57.4	3.3
60～69歳	3.8	5.7	3.8	0.0	7.5	64.2	15.1
70歳以上	0.0	4.2	6.3	0.0	12.5	52.1	25.0
小計	2.0	6.1	8.6	3.7	8.6	59.8	11.1
総計	4.8	12.7	6.5	2.6	5.5	57.9	10.0

男女共同参画の形成に関する意識

問14 あなたは次にあげるような言葉のうち、見たり、聞いたりしたのがありますか。
あてはまるものをお聞かせください。



問15 あなたは「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
 あてはまるものをお聞かせください。



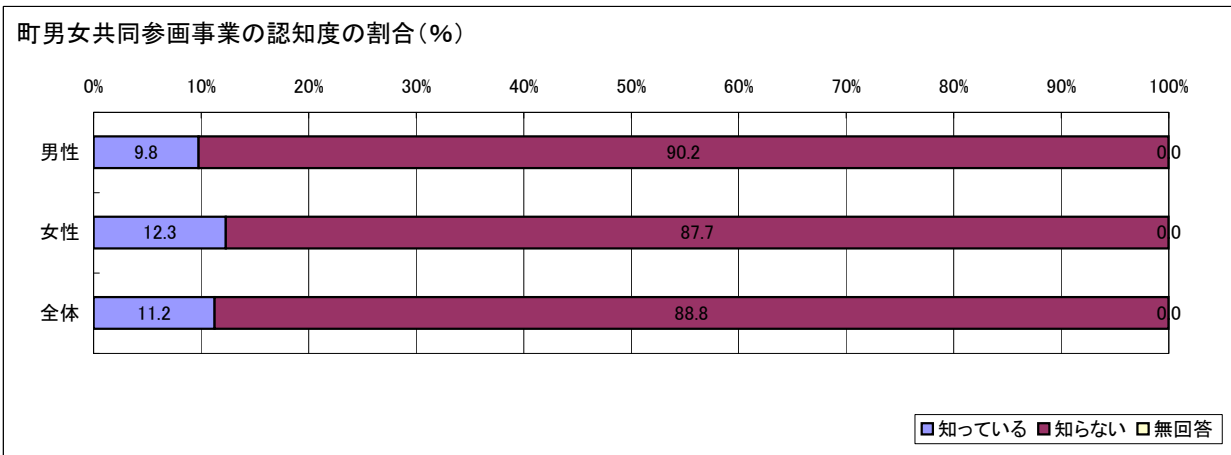
行政が力を入れていくべきことの割合(年齢別) (%)

	審議会等の政策・方針決定の場への女性の登用	野への女性の参画の少ない分野への女性の参画推進	出産、育児等によりいったん仕事を辞めた人の再就職等の支援	労働時間の短縮や在宅勤務の普及等、働き方を見直すための事業者への啓発	保育・介護の施設やサービスの充実	配偶者等からの暴力被害者への支援	広報紙等で女性の権利を尊重した表現が行われるよう促す取組み	女性の生涯を通じた健康づくり	男性の家事等への参加を促進するための意識啓発	学校教育や社会教育等での男女平等の理解や協力の充実	情報収集や相談ができる体制の整備	男女共同参加に関わるNPO等の団体が活動しやすい場所の提供	その他
男性													
20～29歳	2.9	2.9	5.7	5.7	5.7	1.7	1.1	1.7	5.2	3.4	2.9	0.6	0.6
30～39歳	2.9	0.0	5.2	5.2	4.6	1.7	1.1	1.1	3.4	2.3	2.3	1.1	0.6
40～49歳	1.7	2.9	6.3	5.2	6.3	2.3	0.6	0.0	1.7	0.6	2.3	1.7	1.1
50～59歳	2.9	4.6	13.2	9.8	13.8	1.1	1.1	0.0	4.0	4.0	2.9	0.6	0.6
60～69歳	8.6	8.6	19.5	11.5	19.0	1.7	2.3	4.6	8.6	9.8	2.9	5.2	0.6
70歳以上	7.5	4.6	9.8	6.9	12.6	4.0	3.4	3.4	4.0	7.5	5.2	2.9	0.6
小計	26.4	23.6	59.8	44.3	62.1	12.6	9.8	10.9	27.0	27.6	18.4	12.1	4.0
女性													
20～29歳	1.6	0.4	4.1	2.9	3.3	0.8	0.0	0.4	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	4.9	2.0	9.8	7.0	7.8	3.3	0.4	0.4	4.5	3.3	2.5	0.4	0.4
40～49歳	4.9	5.3	9.4	5.3	12.7	4.5	2.0	2.0	6.6	7.0	3.3	0.8	0.4
50～59歳	7.0	5.7	16.0	10.7	16.8	4.9	1.6	2.9	9.4	9.0	6.1	1.6	0.0
60～69歳	7.4	6.1	12.7	9.4	11.5	2.9	2.9	4.9	9.8	8.6	4.5	2.9	0.0
70歳以上	4.9	3.7	7.0	3.7	9.0	1.6	1.2	2.9	3.7	5.7	3.7	1.6	0.4
小計	30.7	23.4	59.0	38.9	61.1	18.0	8.2	13.5	35.2	35.7	20.1	7.4	1.2
総計	28.9	23.4	59.3	41.1	61.5	15.8	8.9	12.4	31.8	32.3	19.4	9.3	2.4

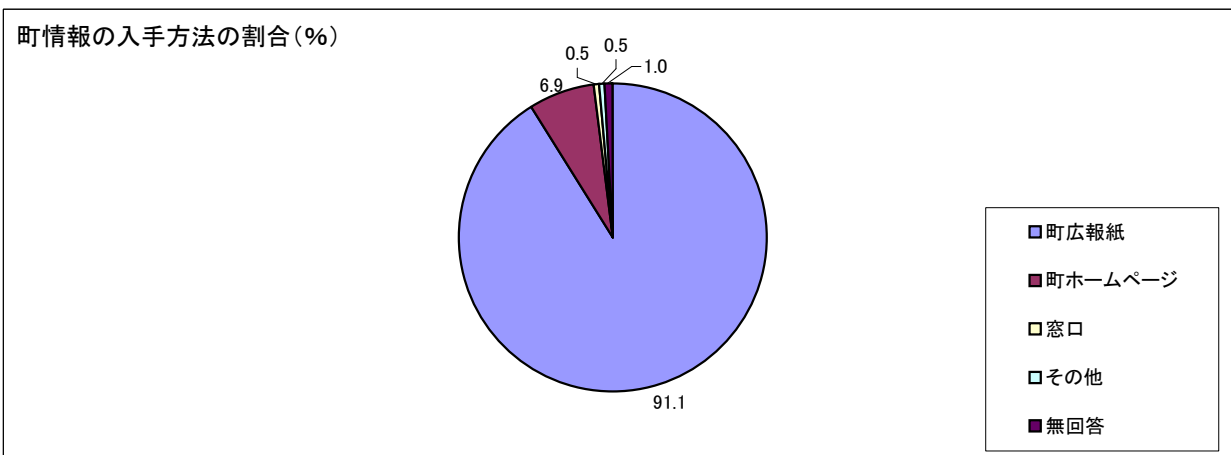
その他

- ・女性の雇用を50%とする法定比率の制定と罰金制等の制定。
- ・男性に有利な法律や裁判の見直し。
- ・政治、職場での責任ある地位への適切な女性の登用と人事配置。(数合わせの女性登用では逆効果) × 2件
- ・広報紙等で男女共同参画社会のメリットを具体的に説くことでの意識啓発。
- ・男女共に自分自身や自分の家族と共に過ごす時間がより多く取れるような社会全体での改革。
- ・女性が有利な職場や事業(保育、看護等)の拡大。

問16 あなたは二宮町が実施している男女共同参画に関する各種事業をご存知ですか。
 あてはまるものをお聞かせください。



問17 あなたは二宮町の発信する各種情報をどのような方法で得ていますか。
 あてはまるものをお聞かせください。



その他

・友人、知人から聞く。

問18 男女共同参画社会の実現についての自由な意見をお聞かせください。

(意識改革に関する意見) 計28件

- ・男女共同が叫ばれて長い年月が経ったが、歴史的伝統的な観念もあるため、長い年月が必要。
- ・「こうだ」と決め付けるのではなく、広く柔軟で息の長いやり方が必要。
- ・女性の参画意識への立場、動機付けを、行政をはじめあらゆる社会分野で、働きかけることが必要。
- ・家庭に於ける(家事、育児、介護)に男性が参加する教育が必要。
- ・法的に定めたことを基に男女の話し合い、努力が必要。
- ・様々な生き方、在り方を認め、それぞれを支援できる社会の育成が必要。
- ・二宮町には年齢によるジェネレーションギャップが大きいので、お年寄りへの意識啓発や活動への参加促進が必要。
- ・法律体制を整えることは大切であるが、一人ひとり(特に上の年代の方々)が「男女平等」の意識を持つことが必要。
- ・男女が互いの権利を主張するのではなく、特性を尊重し合い、役割分担をしながら助け合う家庭・社会作りが大切。
- ・手探りでも、新しい取組みを行い、町民が関心を持てる情報を発信したり、話し合うことが大切。アンケートも有効。
- ・「男性」が「女性」よりいつも先に表現されていること自体を見直し、「女男共同参画社会」とすることからは始めるべき。
- ・育児に父親が協力的になれるように遅くまでの残業は禁止し、会社も個人もその意識を持つべき。
- ・老若男女の意識改革から始めるべき。
- ・女性の地位向上だけでなく、男性の家事への積極的理解も促進させていくべき。
- ・急な変化は受け入れられないと思うので、若い世代から意識を変えていくべき。
- ・「男は外で働き女は家で家事をする」との考えがまだ多いので、男性も家事をするのが当たり前に変えていきたい。
- ・男女平等の履き違えを正し、男性の尊厳と女性の尊厳を尊重して取組んでほしい。
- ・男女である前に人間であるという意識改革をしてほしい。
- ・年配の男性の意識を改革しなければいつまで経っても変わらないのではないかな。
- ・教育が大きく関わらないと、すぐには意識改革が出来ないのではないかな。
- ・良い機会になったので自身の意識を変えていきたい。

(社会環境に関する意見)計10件

- ・定時勤務でない流通やサービス業に勤務する女性が育児中も働くことができる体制や環境づくりが必要。
- ・若い人達が地域の人達と楽しく参加できるイベントを増やし、交流が深まる環境整備が必要。
- ・男性、女性という前に一人の人間として自由な選択ができる社会が必要。
- ・様々な生き方、在り方を認め、それぞれを支援できる社会の育成が必要。
- ・国、地方公共団体は法人への指導改善例を行うべき。
- ・仕事優先社会ではなく、ゆとりある生活ができるような社会にし、地域活動にも積極的に参加できるようにするべき。
- ・今までは男性優先型なので、これからの時代は男女平等にするべき。
- ・社会が強制するのではなく、参加希望の人が速やかに入れる環境とするべき。
- ・経済、開発の為に、女性が働きやすい環境づくりをしてほしい。
- ・個人、行政、経済界共に生きやすい社会を目指してほしい。

(家庭環境に関する意見)計5件

- ・夫婦間、男女間お互いに思いやりを持つことが必要。
- ・基本は家庭づくりが一番大切。
- ・子ども(7歳)の頃から女子への差別、世界の平和等、物事を考える躰をするべき。
- ・女性が社会で働く事にとらわれず、専業主婦が家庭に居ても立派な社会の一員であることを忘れないでほしい。
- ・夫婦、親子、祖父母、それぞれの立場や役割を実行できる家庭が増える程、社会が安定するのではないか。

(職場環境に関する意見)計6件

- ・男性と同じ仕事、地位にこだわらず、女性が活躍できる職場、家から出れるシステム(サービス)の充実が必要。
- ・権限を持たない女性では交渉が成立しないため、対外的交渉に出さないという意識を変革すべき。
- ・子育てや出産の際、女性が仕事を辞めること前提に話を進めないでほしい。
- ・男女の特性をうまく利用した職種、職場を実現してほしい。
- ・子育て後職場に復帰できることが可能な社会であってほしい。
- ・女性が働く時、女性だからという目で見ているのは、意識が平等ではないのではないか。

(人権尊重に関する意見)計7件

- ・性別に関係なく、一人の人間として個人の能力を認め合う心と、お互いを思いやる心持つことが必要。
- ・男性は男性らしく、女性は女性らしくお互いに話し合い理解し合うこと、思い合いの心で協力し合うことが必要。
- ・男女それぞれの特性を考え、お互いを尊重し合える関係を作れる事が大切。
- ・自己の意見だけを主張することなく、男女が互いに尊重できる平和な社会にするべき。
- ・商工の面で女性を無視しないでほしい。
- ・男女を問わず差別・区別はあり、全てが平等ではないがそこを踏まえた上で思いやりのある社会を実現してほしい。
- ・男性社会の世の中では、女性が軽んじられているので、男女共同参画を実現してほしい。

(情報充実にに関する意見)計14件

- ・時間はかかると思うが積極的にPRすることも必要。
- ・理想的社会は具体的でイメージしやすい事が大切なので、少しでも考えさせる機会を提供することが大切。
- ・町の具体的発展性が町民に理解されていないので、町の施策を示すべき。
- ・今後ともより多くの人に様々な情報を広く、多く、知らせてほしい。
- ・どのような取組みなのか知らない人がほとんどと思う、町民への広報手段を改善してほしい。
- ・アンケートの実施結果をどのように活かすのか具体的に広報で情報を提供してほしい。
- ・町民が関心を持てる情報を発信してほしい。
- ・色々な情報をよく知って自分のこれからの参考にしていきたい。

(教育充実に関する意見)計11件

- ・今更50～60年代に問いかけても生活習慣や考え方は変えられないので、子供達に自然な形で教育してほしい。
- ・男性が料理できるよう学校教育を充実させることが必要。
- ・子どもの頃から男女平等の教育や、家庭での躰が必要。
- ・家庭における家事、育児、介護に男性が参加する教育が必要。
- ・母親が育児をするのが基本なので、基本が欠けている母親の育児教育を充実し、両親が勉強することが必要。
- ・教育の場で男女共同参画について考えていくことが大切。
- ・みんなが協力して生活や仕事をしていく意識を小さい頃から教えていく事が大切。
- ・男女共同参画の意識を誰もが身に付ける為には、幼少期より意識を身に付けさせるべき。
- ・男女共同参画意識を高めるには、教育の中で取り入れるべき。
- ・一律の教育ではなく、差別、区別を踏まえた上での教育をしてほしい。
- ・幼い頃から育て、若い人達には共に歩む気持ちを持ってほしい。

(就職支援に関する意見)計4件

- ・学歴向上や意識変化で働く女性は増えているので、少子化対策のためにも女性の再就職を支援すべき。
- ・女性が働く上では、ファミリーサポートセンターの設置が必要。ハローワークのように仕事の紹介もしてほしい。
- ・職業の選択等で男性が優位にある様で、実は男性にとって厳しい社会なのではないか。
- ・男女共同参画とはいえ、実際に男女同じとなった時、女性にとってプラスになる事が少ないのではないか。

(家事参画に関する意見)計5件

- ・男性も積極的に家事に参加し料理等ができるようにすべき。
- ・家庭における家事に男性が積極的に参加するべき。
- ・家事のほぼ全てが女性によって担われているのは、男性にその気があっても時間が取れないからではないか。

(育児支援に関する意見)計15件

- ・女性の再就職を支援するのではなく、仕事を辞めずに子育て、出産等ができるような体制が必要。
- ・女性が育児中も働くことができる体制や環境づくりが必要。
- ・若い人達が働けるように幼児を預ける場所が必要。
- ・子どもの急病時等に、共稼ぎや核家族でも仕事を休まなくても気軽にSOSを出せて支援してもらえる体制がほしい。
- ・子育てと仕事が両立できるよう幼児の預かり体制を整備してほしい。
- ・保育の施設のサービスの充実を力を入れてほしい。
- ・女性にしか出来ない最大の仕事である出産をもっとバックアップしてほしい。
- ・子育てをしている女性が社会に出るには、保育やベビーシッター等の充実を行政で進めてほしい。
- ・子どもが小さいうちは安心して育児に専念できるように、「育児手当」支給等の安心感を持てるサポートがほしい。
- ・育児は大きな仕事のため結婚や出産で退職する傾向があり、経験や能力が残念なので行政支援を充実してほしい。
- ・シルバー人材と連携し、保育園の充実、病中、病後の保育を実現してほしい。
- ・保育園を充実してほしい。
- ・男性が育児に参加できる制度を確立してほしい。

(介護支援に関する意見)計3件

- ・家庭における介護に男性が積極的に参加するべき。
- ・介護の施設のサービスの充実に力を入れてほしい。
- ・高齢社会を考え、少子化や介護職看護職不足を解決するためにも介護職を継続できる環境整備が必要。

(地域活動に関する意見)計3件

- ・二宮町は、まだまだ古い考えの方が多く、活動でも多くは男性が仕切っているので、もっと女性にチャンスがほしい。
- ・仕事だけでなく、ボランティアも必要。
- ・職員、議員がもっと町民と接し、ボランティアを含む活動に参加してほしい。

(女性登用に関する意見)計3件

- ・真に能力のある人を男女の区別なく登用するという基本的なスタンスが大切。
- ・行政の長に違和感なく女性が就いてほしい。
- ・町の審議会等、一般の人が関われる立場に女性の枠(半分)が必要。職員も積極的に女性管理職を登用してほしい。

(その他)計27件

- ・男女の違いを認識した上での男女平和な社会を実現してほしい。
- ・共同参画＝同率参画ではない。アンケート項目は同率参画を前提。
- ・差別ではなく男女は元々別のもので、それぞれ得意なものは違うはずで、それを活かす事が必要と思います。
- ・男女の相違を踏まえて地道に根気よく着実に一步一步実現可能なものにしてほしい。
- ・「性別に関係なく、その個性と能力を十分に活かせる」とことには同意する。
- ・男女の差別と区別は全く違う。差別はあってはいけない。
- ・男女が平等であるという定義は様々。仕事内容が同じであれば平等であるかと言うと違う。
- ・機会は平等であっても女性と男性には自ら果たすべき役割に違いがある。
- ・行政の男だから女だからという固定観念は不要。但し、身体に関わるものは必要。
- ・性差はあることを認めた上での実現であってほしい。
- ・社会参画においても男女それぞれの役割がある。
- ・男性らしさ、女性らしさの面をそっこのけにしての共同参画では返ってストレスが溜まる人もいる。
- ・すべての分野において男女共同参画はきついで、得意分野を選択でき活かせるようにしてほしい。
- ・女性が行うことは的確ではないものも、男女区別なく平等にといわれ、やらされることもありそうで怖い。
- ・差別をなくすのは良いが、「男性が主にやっていたきつい仕事も女性もやらなければおかしい」と考える男性がいる。
- ・実現すれば理想的だが、現実を考えれば実現は絶対不可能。
- ・身体づくりが同じでない限り本当の平等はあり得ないが、考え方や意識を持つことにより「共同」が叶うことを願う。
- ・男女の体力的、肉体的違いがあるので全てが男女一緒というのは考え難い。できる事を考えてほしい。
- ・男女平等はとても難しい問題だと思う。
- ・良妻賢母という価値観への姿勢を明確にする必要あり。
- ・必ずしも良いことだと思えない。昔ながらの女は家庭を守り、男は働きに出るという考えが少なくなっているのは残念。
- ・男女共同参画よりも「女性の権利」が強調されている。

- ・秩序ある男女共同参画社会を望む。行き過ぎたジェンダーフリー問題。
- ・女性が育児しながら働くの大変だが、家にこもっていないで「社会とのつながり」を持つことはとても良いこと。
- ・仕事との両立によるストレスで子どもとゆったり過ごす時間を逃し結果的に健全な育成に影響を及ぼすのでは。
- ・子どもにとっては出来るなら母親は職業を辞め、子育てをしっかりと取り組み、母子の絆を培っていく必要がある。
- ・結婚して子どもが出来た女性は家事育児に専念すべし。
- ・本来は母親が育児をするのが基本。
- ・子どもは親の背中を見て育つので、両親の仲が良ければ子どもは育つ。暴力、いじめのない良い社会ができる。
- ・常勤の女性は、家事、育児、介護でゆとりがなく、ゆとりのある働き方を選べば生活していけない状況。
- ・男の人の責任感がなさすぎるので、そちらに力を入れたいほしい。
- ・実現されると町での生活が住みよくなるのか疑問です。
- ・70歳以上の人にアンケートを渡してもよくわかりません。もっと若い人にだしてほしい。

資料データ

回収結果

回収結果

配布数	回収数	有効 回答数	無効 回答数
1,000	423	418	5

回答者属性

回答者の性別(問1)

男性	女性	総計
174	244	418

回答者の年齢(問2)

年齢	男性	女性	総計
20～29歳	18	12	30
30～39歳	15	33	48
40～49歳	23	37	60
50～59歳	29	61	90
60～69歳	51	53	104
70歳以上	38	48	86
無回答	0	0	0
総計	174	244	418

回答者の職業(大分類)(問3-A)

業種	男性	女性	総計
自営業	20	14	34
家族従事者(家業手伝い)	0	4	4
常勤(フルタイム)	83	36	119
非常勤(パートタイム・アルバイト)	11	43	54
その他(内職等)	2	2	4
無職	58	145	203
総計	174	244	418

回答者の職業のうち自営業主、家族従事者(問3-B)

業種	男性	女性	総計
農林漁業	1	4	5
商工サービス業	15	7	22
自由業	4	7	11
総計	20	18	38

回答者の職業のうち雇用者(問3-B)

業種	男性	女性	総計
経営・管理職	15	2	17
専門・技術職	26	17	43
事務職	19	21	40
教育職	4	11	15
技能・労務職	13	10	23
販売・サービス職	19	20	39
合計	96	81	177

回答者の職業のうち無職(問3-B)

業種	男性	女性	総計
主婦(夫)	7	122	129
学生	4	2	6
無職	47	21	68
その他	0	0	0
総計	58	145	203

婚姻関係(問4)

業種	男性	女性	総計
未婚	26	19	45
既婚(配偶者あり)	139	195	334
結婚していたが離別・死別した	9	30	39
無回答	0	0	0
総計	174	244	418

婚姻関係年齢別(問4)

年齢	未婚	既婚(配偶者あり)	結婚していたが離別・死別した	総計
20～29歳	22	8	0	30
30～39歳	12	36	0	48
40～49歳	8	49	3	57
50～59歳	2	79	9	81
60～69歳	1	98	5	99
70歳以上	0	64	22	64
総計	45	334	39	379

配偶者の職業(問5-A)

業種	男性	女性	総計
自営業	6	22	28
家族従事者(家業手伝い)	9	4	13
常勤(フルタイム)	17	99	116
非常勤(パートタイム・アルバイト)	22	17	39
その他(内職等)	2	2	4
無職	83	51	134
総計	139	195	334

配偶者の職業のうち自営業主、家族従事者(問5-B)

業種	男性	女性	総計
農林漁業	0	5	5
商工サービス業	11	9	20
自由業	4	12	16
総計	15	26	41

配偶者の職業のうち雇用者(問5-B)

業種	男性	女性	総計
経営・管理職	1	21	22
専門・技術職	8	41	49
事務職	10	21	31
教育職	3	11	14
技能・労務職	5	14	19
販売・サービス職	14	10	24
総計	41	118	159

配偶者の職業のうち無職(問5-B)

業種	男性	女性	総計
主婦(夫)	70	22	92
学生	0	0	0
無職	13	29	42
その他	0	0	0
総計	83	51	134

男女の地位に関する意識

家庭・職場・教育・地域・社会通念等における男女の地位(問6)

家庭生活の場の男女の地位(問6-A)

	優男 遇性の さの方 が非常 に	れ男ど 性のち らの方 かとい えば	平 等	れ女ど 性のち らの方 かとい えば	優女 遇性の さの方 が非常 に	わ から ない	総 計
男性							
20～29歳	1	6	8	2	0	1	18
30～39歳	1	3	9	1	0	1	15
40～49歳	3	6	10	2	0	2	23
50～59歳	2	15	10	0	0	2	29
60～69歳	6	25	16	2	1	1	51
70歳以上	1	16	17	0	0	4	38
小計	14	71	70	7	1	11	174
女性							
20～29歳	1	4	5	0	0	2	12
30～39歳	6	13	9	2	0	3	33
40～49歳	4	17	9	1	2	4	37
50～59歳	6	31	14	6	0	4	61
60～69歳	9	22	17	3	0	2	53
70歳以上	7	22	10	4	0	5	48
小計	33	109	64	16	2	20	244
総計	47	180	134	23	3	31	418

職場の男女の地位(問6-B)

	優男性の 遇さ れ て い る に	優女性 の 方 が 非 常 に	ど ち ら か と い え ば	平 等	ど ち ら か と い え ば	優女性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い	総 計
男性								
20～29歳	3	7	5	2	0	1	18	
30～39歳	3	4	7	1	0	0	15	
40～49歳	3	12	5	1	0	2	23	
50～59歳	2	16	8	1	0	2	29	
60～69歳	12	20	14	0	0	5	51	
70歳以上	5	20	2	1	0	10	38	
小計	28	79	41	6	0	20	174	
女性								
20～29歳	2	4	2	1	0	3	12	
30～39歳	5	17	5	1	0	5	33	
40～49歳	5	11	12	1	0	8	37	
50～59歳	10	26	10	4	0	11	61	
60～69歳	7	26	3	1	1	15	53	
70歳以上	4	19	3	2	0	20	48	
小計	33	103	35	10	1	62	244	
総計	61	182	76	16	1	82	418	

学校教育の場の男女の地位(問6-C)

	優男性の 遇さ れ て い る に	れ男性 ど 性 の ら か と い え ば	平 等	れ女性 ど 性 の ら か と い え ば	優女性 の 遇 さ れ て い る に	わ か ら な い	総 計
男性							
20～29歳	1	1	12	2	0	2	18
30～39歳	0	1	6	2	0	6	15
40～49歳	0	1	14	0	0	8	23
50～59歳	0	1	19	2	0	7	29
60～69歳	0	2	24	2	0	23	51
70歳以上	0	0	21	1	0	16	38
小計	1	6	96	9	0	62	174
女性							
20～29歳	0	0	7	1	0	4	12
30～39歳	0	0	20	0	0	13	33
40～49歳	0	1	26	0	0	10	37
50～59歳	0	2	36	8	0	15	61
60～69歳	0	3	24	1	0	25	53
70歳以上	0	2	20	0	0	26	48
小計	0	8	133	10	0	93	244
総計	1	14	229	19	0	155	418

社会通念・慣習・しきたりなどの男女の地位(問6-D)

	優男性の 遇さ れ方 が非 常に	れ男ど 性のち らか と 優 遇さ ば	平 等	れ女ど 性のち らか と 優 遇さ ば	優女性 の 遇さ れ方 が非 常に	わ か ら な い	総 計
男性							
20～29歳	3	9	0	2	0	4	18
30～39歳	3	6	2	2	0	2	15
40～49歳	3	14	4	1	0	1	23
50～59歳	2	19	7	1	0	0	29
60～69歳	7	31	6	4	0	3	51
70歳以上	3	19	5	1	0	10	38
小計	21	98	24	11	0	20	174
女性							
20～29歳	3	4	4	0	0	1	12
30～39歳	8	20	2	1	0	2	33
40～49歳	7	22	1	3	0	4	37
50～59歳	12	36	4	3	0	6	61
60～69歳	10	38	4	0	0	1	53
70歳以上	7	23	5	0	0	13	48
小計	47	143	20	7	0	27	244
総計	68	241	44	18	0	47	418

社会全体における男女の地位(問7)

	優男性の 遇さ れ て い る に	れ男性 ど 性 の ら か と い え ば	平 等	れ女性 ど 性 の ら か と い え ば	優女性 の 遇 さ れ て い る に	わ か ら な い	合 計
男性							
20～29歳	1	10	0	4	0	3	18
30～39歳	3	5	4	3	0	0	15
40～49歳	2	13	4	1	0	3	23
50～59歳	1	19	7	1	0	1	29
60～69歳	4	32	10	3	0	2	51
70歳以上	2	19	8	0	0	9	38
小計	13	98	33	12	0	18	174
女性							
20～29歳	2	9	1	0	0	0	12
30～39歳	2	26	3	1	0	1	33
40～49歳	5	23	1	1	0	7	37
50～59歳	13	36	6	3	0	3	61
60～69歳	6	37	6	1	0	3	53
70歳以上	6	26	4	2	0	10	48
小計	34	157	21	8	0	24	244
総計	47	255	54	20	0	42	418

家庭生活等に関する意識

家事、育児、介護等の分担(問8)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
食事の支度	男性	0	17	116	3	2	1	139
	女性	3	13	167	5	3	4	195
	総計	3	30	283	8	5	5	334
食事の片付け	男性	6	33	89	2	8	1	139
	女性	5	26	153	3	5	3	195
	総計	11	59	242	5	13	4	334
掃除	男性	8	30	90	3	7	1	139
	女性	4	35	144	2	7	3	195
	総計	12	65	234	5	14	4	334
育児	男性	0	9	22	0	2	34	67
	女性	0	17	48	1	2	42	110
	総計	0	26	70	1	4	76	177
介護	男性	1	6	11	0	1	42	61
	女性	0	7	17	2	4	61	91
	総計	1	13	28	2	5	103	152

食事の支度にかかる所要時間(問8-A)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
0時間	平日	0	3	32	3	0	5	43
1時間以内		0	11	43	3	3	0	60
1時間以上～3時間以下		2	13	175	2	2	0	194
3時間以上～5時間以下		0	1	25	0	0	0	26
5時間以上～10時間以下		1	2	8	0	0	0	11
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		3	30	283	8	5	5	334
0時間	休日	1	3	32	4	0	5	45
1時間以内		0	8	46	2	2	0	58
1時間以上～3時間以下		2	18	171	2	3	0	196
3時間以上～5時間以下		0	1	23	0	0	0	24
5時間以上～10時間以下		0	0	11	0	0	0	11
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		3	30	283	8	5	5	334

食事の片付けにかかる所要時間(問8-B)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
0時間	平日	0	6	32	2	2	4	46
1時間以内		7	42	151	3	8	0	211
1時間以上～3時間以下		4	11	56	0	3	0	74
3時間以上～5時間以下		0	0	3	0	0	0	3
5時間以上～10時間以下		0	0	0	0	0	0	0
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		11	59	242	5	13	4	334
0時間	休日	0	6	33	2	2	4	47
1時間以内		6	42	142	3	8	0	201
1時間以上～3時間以下		5	11	64	0	3	0	83
3時間以上～5時間以下		0	0	3	0	0	0	3
5時間以上～10時間以下		0	0	0	0	0	0	0
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		11	59	242	5	13	4	334

掃除にかかる所要時間(問8-C)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
0時間	平日	2	10	33	1	2	4	52
1時間以内		8	46	143	3	11	0	211
1時間以上～3時間以下		2	9	53	1	1	0	66
3時間以上～5時間以下		0	0	5	0	0	0	5
5時間以上～10時間以下		0	0	0	0	0	0	0
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		12	65	234	5	14	4	334
0時間	休日	2	12	44	1	1	4	64
1時間以内		8	42	136	3	11	0	200
1時間以上～3時間以下		2	10	50	1	2	0	65
3時間以上～5時間以下		0	0	4	0	0	0	4
5時間以上～10時間以下		0	1	0	0	0	0	1
10時間以上～24時間以下		0	0	0	0	0	0	0
総計		12	65	234	5	14	4	334

育児にかかる所要時間(問8-D)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
0時間	平日	0	12	31	1	1	75	120
1時間以内		0	6	8	0	1	0	15
1時間以上～3時間以下		0	3	6	0	1	0	10
3時間以上～5時間以下		0	1	7	0	0	1	9
5時間以上～10時間以下		0	0	7	0	0	0	7
10時間以上～24時間以下		0	4	11	0	1	0	16
総計		0	26	70	1	4	76	177
0時間	休日	0	14	34	1	2	75	126
1時間以内		0	3	5	0	0	0	8
1時間以上～3時間以下		0	2	9	0	0	0	11
3時間以上～5時間以下		0	1	4	0	0	1	6
5時間以上～10時間以下		0	0	4	0	1	0	5
10時間以上～24時間以下		0	6	14	0	1	0	21
総計		0	26	70	1	4	76	177

介護にかかる所要時間(問8-E)

		夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
0時間	平日	0	11	10	2	3	102	128
1時間以内		0	1	5	0	1	0	7
1時間以上～3時間以下		0	1	7	0	0	1	9
3時間以上～5時間以下		0	0	3	0	0	0	3
5時間以上～10時間以下		1	0	2	0	0	0	3
10時間以上～24時間以下		0	0	1	0	1	0	2
総計		1	13	28	2	5	103	152
0時間	休日	0	11	12	2	3	102	130
1時間以内		0	1	5	0	0	0	6
1時間以上～3時間以下		0	1	6	0	1	1	9
3時間以上～5時間以下		0	0	3	0	0	0	3
5時間以上～10時間以下		1	0	1	0	0	0	2
10時間以上～24時間以下		0	0	1	0	1	0	2
総計		1	13	28	2	5	103	152

家事・育児・介護等の分担(有職者の比較)(問8)

	働き方	夫	夫と妻が同程度	妻	夫婦以外の家族	家族全員	わからない	総計
食事の支度	共働き	2	13	102	6	2	2	127
	片働き	0	7	110	0	0	2	119
食事の片付け	共働き	2	20	80	2	4	0	108
	片働き	3	20	79	1	3	0	106
掃除	共働き	2	15	79	3	8	0	107
	片働き	3	15	83	0	4	1	106
育児	共働き	0	13	27	1	1	24	66
	片働き	0	5	24	0	1	28	58
介護	共働き	0	0	1	0	0	13	14
	片働き	0	0	0	0	0	0	0

固定的な考え方に対する気持ち(問9)

一生独身で暮らすより結婚した方がよい(問9-A)

		そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	総計
男性								
	20～29歳	10	3	2	0	1	2	18
	30～39歳	9	4	1	0	1	0	15
	40～49歳	13	6	2	0	1	1	23
	50～59歳	20	5	3	0	1	0	29
	60～69歳	34	13	3	0	0	1	51
	70歳以上	27	5	1	0	3	2	38
小計		113	36	12	0	7	6	174
女性								
	20～29歳	7	2	2	0	0	1	12
	30～39歳	16	10	5	0	2	0	33
	40～49歳	13	11	10	1	2	0	37
	50～59歳	23	15	18	2	1	2	61
	60～69歳	22	14	11	1	2	3	53
	70歳以上	27	8	7	0	2	4	48
小計		108	60	53	4	9	10	244
総計		221	96	65	4	16	16	418

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき(問9-B)

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	総計
男性							
20～29歳	0	3	8	0	6	1	18
30～39歳	1	2	3	1	8	0	15
40～49歳	0	7	6	2	7	1	23
50～59歳	2	10	8	2	6	1	29
60～69歳	7	23	11	3	5	2	51
70歳以上	9	10	14	1	2	2	38
小計	19	55	50	9	34	7	174
女性							
20～29歳	1	0	4	2	5	0	12
30～39歳	3	7	11	0	12	0	33
40～49歳	3	10	8	4	11	1	37
50～59歳	2	13	27	4	14	1	61
60～69歳	7	11	18	3	10	4	53
70歳以上	9	15	8	3	6	7	48
小計	25	56	76	16	58	13	244
総計	44	111	126	25	92	20	418

結婚したら子どもを持つべき(問9-C)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	総計
男性							
20～29歳	10	4	2	0	1	1	18
30～39歳	4	4	4	1	2	0	15
40～49歳	12	4	4	0	1	2	23
50～59歳	16	6	6	0	0	1	29
60～69歳	31	15	3	0	1	1	51
70歳以上	25	5	2	1	3	2	38
小計	98	38	21	2	8	7	174
女性							
20～29歳	5	3	1	0	3	0	12
30～39歳	9	9	10	0	5	0	33
40～49歳	7	11	12	3	2	2	37
50～59歳	23	16	18	0	2	2	61
60～69歳	26	13	6	3	2	3	53
70歳以上	35	6	1	1	1	4	48
小計	105	58	48	7	15	11	244
総計	203	96	69	9	23	18	418

夫婦間の愛情がなくなれば離婚した方がよい(問9-D)

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	総計
男性							
20～29歳	2	4	8	1	2	1	18
30～39歳	3	2	4	1	4	1	15
40～49歳	3	6	7	1	3	3	23
50～59歳	7	5	10	0	5	2	29
60～69歳	8	8	21	3	5	6	51
70歳以上	2	9	13	1	7	6	38
小計	25	34	63	7	26	19	174
女性							
20～29歳	2	0	7	1	0	2	12
30～39歳	4	7	15	1	5	1	33
40～49歳	8	7	11	1	5	5	37
50～59歳	10	13	21	3	8	6	61
60～69歳	4	10	24	5	5	5	53
70歳以上	11	8	15	3	4	7	48
小計	39	45	93	14	27	26	244
総計	64	79	156	21	53	45	418

女性が職業をもつこと(問10)

	女性の方が職業をもたない	結婚するまでよい職業をもつ方	子どもが職業をもつ方がよい	子どもが職業をもつ方がよい	職業を辞め、再び職業をなつたらよい	子どもが職業を続ける方がよい	子どもが職業を続ける	その他	わからない	総計
男性										
20～29歳	0	0	0	6	6	4	2	18		
30～39歳	0	0	0	6	5	3	1	15		
40～49歳	0	0	2	11	5	2	3	23		
50～59歳	0	0	1	19	7	2	0	29		
60～69歳	2	1	8	26	10	1	3	51		
70歳以上	0	2	8	13	10	1	4	38		
小計	2	3	19	81	43	13	13	174		
女性										
20～29歳	0	0	0	4	5	3	0	12		
30～39歳	0	1	2	10	12	6	2	33		
40～49歳	1	2	2	14	10	8	0	37		
50～59歳	0	2	1	32	17	6	3	61		
60～69歳	1	1	2	29	12	4	4	53		
70歳以上	0	4	8	24	8	0	4	48		
小計	2	10	15	113	64	27	13	244		
総計	4	13	34	194	107	40	26	418		

その他

- ・多様な生き方を尊重し、個人の信念によって自由に決めるべき。×25件
- ・家庭状況や周りの環境等、自分の生活状況によって決めるべき。×16件
- ・社会的貢献や、自分自身が向上、充実できるのなら続けるべき。×2件
- ・子どもができたなら時間を短縮し、ずっと職業を続けるべき。
- ・結婚したら職業を辞め、パートで続けるべき。
- ・男性も家事に参加するべき。(男性が職業を辞めて育児を行う等)×3件
- ・生活のためには働くべきだが、社会(職場環境)が整備されておらず辞めざるを得ない。

女性が働きやすい環境に必要なこと(問11)

	の 整 備	育 児 の 取 り や す い 環 境 等	整 備 が で き る 環 境 の き	方 等 の 多 様 な 働 き の き	制 等 の ク ス タ イ ム	フ レ ッ ク ス タ イ ム	や サ ー ビ ス の 充 実	保 育 ・ 介 護 の 施 設	理 解 こ と へ の 職 場 の	家 事 ・ 育 児 等 を 行 う	女 性 が 働 き な が ら	理 解 こ と へ の 職 場 の	家 事 ・ 育 児 等 を 行 う	男 性 が 働 き な が ら	と い う 意 識 の 普 及	事 業 が 担 う	男 女 が 協 力 し て	と り を 行 う 時 間 と 育 児	男 性 が 家 事 ・ 育 児	総 計
男性																				
20～29歳	15		7		9		4		6		6		5		6		5		52	
30～39歳	10		6		5		7		4		5		1		38					
40～49歳	11		9		8		9		4		7		6		54					
50～59歳	20		17		16		13		2		9		7		84					
60～69歳	33		15		23		24		7		15		4		121					
70歳以上	24		11		16		17		0		18		4		90					
小計	113		65		77		74		23		60		27		439					
女性																				
20～29歳	9		4		5		5		4		2		3		32					
30～39歳	20		17		17		14		4		11		9		92					
40～49歳	20		16		18		11		4		19		8		96					
50～59歳	42		28		28		25		5		32		8		168					
60～69歳	33		19		16		19		2		24		10		123					
70歳以上	26		10		18		17		4		21		3		99					
小計	150		94		102		91		23		109		41		610					
総計	263		159		179		165		46		169		68		1049					

女性が再就職しやすい環境に必要なこと(問12)

	用再年 枠雇齢 の用制 緩和度 の等、 採和や	条遣パ 件労ト の働者 改善等 の働者 や働派	や保育 サ一・ ビス介 スの施 充設	と事男 い・女 う育が 意児協 識等力 のをして 普担家	実修再 や就職 職のた 業め 訓の充 練研	る事再 啓例就 発職職 のした 紹介女 性のよ	で情報 集収 る体集 制や の相 整談 備が	0
男性								
20～29歳	13	6	10	1	1	6	3	40
30～39歳	10	5	7	3	2	3	5	35
40～49歳	17	8	8	5	1	6	4	49
50～59歳	23	16	21	6	1	8	5	80
60～69歳	39	18	28	11	0	19	6	121
70歳以上	22	17	20	6	1	14	5	85
小計	124	70	94	32	6	56	28	410
女性								
20～29歳	5	8	9	3	2	4	0	31
30～39歳	29	16	19	3	1	13	9	90
40～49歳	26	20	22	6	0	15	4	93
50～59歳	49	27	32	11	2	23	16	160
60～69歳	37	19	20	13	2	22	9	122
70歳以上	22	17	15	9	0	16	13	92
小計	168	107	117	45	7	93	51	588
総計	292	177	211	77	13	149	79	998

ワーク・ライフ・バランスの理想と現実(問13)

望ましいと思う位置づけ(問13-A)

	仕事を優先したい	仕事にも優先したい、家庭生活や地域活動も優先したい	地域活動と家庭生活を両立したい	地域活動も優先したい	仕事にも優先したい、家庭生活や地域活動も優先したい	家庭生活を優先したい	わからない	総計
男性								
20～29歳	1	6	8	2	0	1	18	
30～39歳	1	3	9	1	0	1	15	
40～49歳	3	6	10	2	0	2	23	
50～59歳	2	15	10	0	0	2	29	
60～69歳	6	25	16	2	1	1	51	
70歳以上	1	16	17	0	0	4	38	
小計	14	71	70	7	1	11	174	
女性								
20～29歳	4	2	3	1	1	1	12	
30～39歳	0	8	12	6	2	5	33	
40～49歳	1	7	16	9	2	2	37	
50～59歳	2	12	24	12	9	2	61	
60～69歳	4	15	14	8	4	8	53	
70歳以上	5	8	10	3	9	13	48	
小計	16	52	79	39	27	31	244	
総計	36	135	116	52	29	50	418	

現在の状況(問13-B)

	仕事を優先している	仕事にも携わっているが、地域生活や地域活動に優先している	家庭生活や地域活動に優先している	地域活動と両立している	仕事と家庭生活を両立している	地域活動に優先している	が、家庭生活や地域活動に優先している	仕事にも携わっている	家庭生活を優先している	わからない	総計
男性											
20～29歳	10	3	1	0	1	3	18				
30～39歳	4	6	2	1	0	2	15				
40～49歳	9	12	0	0	0	2	23				
50～59歳	14	10	1	1	1	2	29				
60～69歳	8	21	6	0	8	8	51				
70歳以上	4	8	3	1	8	14	38				
小計	49	60	13	3	18	31	174				
女性											
20～29歳	4	0	1	1	0	6	12				
30～39歳	6	5	3	1	13	5	33				
40～49歳	3	7	6	13	5	3	37				
50～59歳	5	14	13	4	17	8	61				
60～69歳	5	6	4	4	17	17	53				
70歳以上	2	5	5	3	15	18	48				
小計	25	37	32	26	67	57	244				
総計	74	97	45	29	85	88	418				

理想の位置付けの達成者割合(問13)

	仕事を優先したい	仕事にも優先したいが、家庭生活や地域活動も優先したい	家庭生活や地域活動が優先したい	地域活動と両立したい	仕事と家庭生活を両立したい	地域活動も優先したい	仕事にも優先したいが、家庭生活や地域活動も優先したい	家庭生活を優先したい	わからない	未達成	総計
男性											
20～29歳	2	1	1	0	0	1	13	18			
30～39歳	3	3	1	1	0	0	7	15			
40～49歳	2	7	0	0	0	2	12	23			
50～59歳	4	5	1	1	0	0	18	29			
60～69歳	3	16	3	0	2	5	22	51			
70歳以上	1	6	0	0	0	7	24	38			
小計	15	38	6	2	2	15	96	174			
女性											
20～29歳	2	0	0	1	0	1	8	12			
30～39歳	0	2	3	0	2	2	24	33			
40～49歳	0	4	3	7	1	2	20	37			
50～59歳	1	4	10	1	8	2	35	61			
60～69歳	2	3	2	0	4	8	34	53			
70歳以上	0	2	3	0	6	12	25	48			
小計	5	15	21	9	21	27	146	244			
総計	20	53	27	11	23	42	242	418			

男女共同参画の形成に関する意識

全体の用語の認知度(問14)

知 い づ つ て れ い か の 用 語 を	た 見 も た り の は 聞 い た り し	総 計
317	101	418

用語毎の認知度(問14)

	参 画 （ ま た は 男 女 共 同 参 画 社 会 ）	女 子 差 別 撤 廃 条 約	置 （ 積 極 的 改 善 措 置 ）	ポ ジ テ ィ ブ ・ ア ク シ ョ ン	（ ジ ェ ン ダ ー の 社 会 的 性 別 ）	和 （ ）	パ ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ ブ ラ ン ス	配 偶 者 暴 力 相 談 支 援 セ ン タ ー	見 た り の は 聞 い た り し	わ か ら な い	総 計
男性											
20～29歳	10	3	4	10	5	5	2	2	41		
30～39歳	8	2	3	6	5	4	3	2	33		
40～49歳	10	8	7	7	12	7	2	1	54		
50～59歳	25	5	7	12	17	9	3	0	78		
60～69歳	34	11	7	13	14	19	5	5	108		
70歳以上	22	11	6	9	10	13	5	7	83		
小計	109	40	34	57	63	57	20	17	397		
女性											
20～29歳	11	7	3	8	6	3	0	1	39		
30～39歳	15	4	1	13	6	13	6	3	61		
40～49歳	23	9	4	16	12	16	3	3	86		
50～59歳	31	12	7	20	12	29	12	5	128		
60～69歳	27	13	8	10	16	31	5	7	117		
70歳以上	17	10	4	4	15	16	4	15	85		
小計	124	55	27	71	67	108	30	34	516		
総計	233	95	61	128	130	165	50	51	913		

行政が力を入れていくべきこと(問15)その①

	審議会の場への女性の登用	女性の参画の少ない分野への女性の参画の推進	出産、育児等により就業等の支援	発直務労働の普及等、働き方を見直すための事業者への啓発	保育・介護の施設やサービス	配偶者等からの暴力被害者への支援	広報紙等で女性の権利を尊重した表現が行われるよう促す取り組み	女性の生涯を通じた健康づくり	男性の家事等への参加を促進するための意識啓発
男性									
20～29歳	5	5	10	10	10	3	2	3	9
30～39歳	5	0	9	9	8	3	2	2	6
40～49歳	3	5	11	9	11	4	1	0	3
50～59歳	5	8	23	17	24	2	2	0	7
60～69歳	15	15	34	20	33	3	4	8	15
70歳以上	13	8	17	12	22	7	6	6	7
小計	46	41	104	77	108	22	17	19	47
女性									
20～29歳	4	1	10	7	8	2	0	1	3
30～39歳	12	5	24	17	19	8	1	1	11
40～49歳	12	13	23	13	31	11	5	5	16
50～59歳	17	14	39	26	41	12	4	7	23
60～69歳	18	15	31	23	28	7	7	12	24
70歳以上	12	9	17	9	22	4	3	7	9
小計	75	57	144	95	149	44	20	33	86
総計	121	98	248	172	257	66	37	52	133

行政が力を入れていくべきこと(問15)その②

	実際に男子の学習機会の充実に	学校の教育や社会教育等で	情報収集や相談ができる	すP男 いO女 場共 所同 の団 の参加 提供が 活動 しる やN	その他	わからない	総計
男性							
20～29歳	6	5	1	1	1	71	
30～39歳	4	4	2	1	1	56	
40～49歳	1	4	3	2	3	60	
50～59歳	7	5	1	1	1	103	
60～69歳	17	5	9	1	4	183	
70歳以上	13	9	5	1	6	132	
小計	48	32	21	7	16	605	
女性							
20～29歳	5	0	0	0	1	42	
30～39歳	8	6	1	1	3	117	
40～49歳	17	8	2	1	2	159	
50～59歳	22	15	4	0	6	230	
60～69歳	21	11	7	0	6	210	
70歳以上	14	9	4	1	12	132	
小計	87	49	18	3	30	890	
総計	135	81	39	10	46	1495	

その他

- ・女性の雇用を50%とする法定比率の制定と罰金制等の制定。
- ・男性に有利な法律や裁判の見直し。
- ・政治、職場での責任ある地位への適切な女性の登用と人事配置。(数合わせの女性登用では逆効果) × 2件
- ・広報紙等で男女共同参画社会のメリットを具体的に説くことでの意識啓発。
- ・男女共に自分自身や自分の家族と共に過ごす時間がより多く取れるような社会全体での改革。
- ・女性が有利な職場や事業(保育、看護等)の拡大。

町の男女共同参画事業の認知度(問16)

業種	男性	女性	総数
知ってる	17	30	47
知らない	157	214	371
総計	174	244	418

町情報の入手方法(問17)

業種	男性	女性	総数
町広報紙	151	230	381
町ホームページ	18	11	29
窓口	1	1	2
知らない	2	0	2
無回答	2	2	4
総計	174	244	418

その他

・友人、知人から聞く。